

情報システム係

「学生便覧別冊」

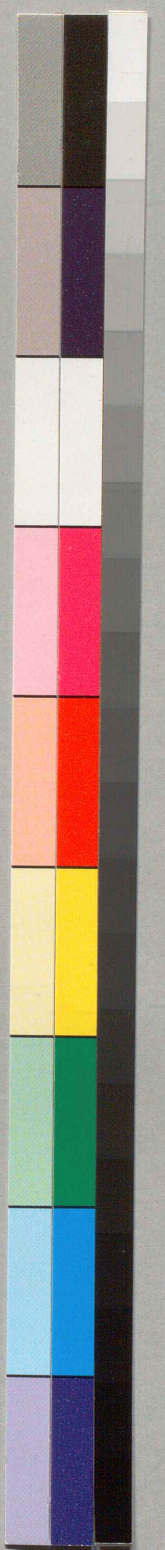
平成14年度開講科目

大 学 院

〔人間文化研究科〕
(博士前期課程)



お茶の水女子大学



平成14年度 行事予定表

月 日 (曜)	事 項
平成14年	
4月9日 (火)	入 学 式
4月15日 (月)	前学期授業開始
4月16日 (火) ~ 19日 (金)	定期健康診断
7月25日 (木) ~ 31日 (水)	補 講 日・前学期末試験
9月17日 (火) ~ 20日 (金)・30日 (月)	
8月1日 (木) ~ 9月16日 (月)	
9月24日 (火) ~ 27日 (金)	秋 期 休 業
10月1日 (火)	後学期授業開始
11月9日 (土) ・ 10日 (日)	徽 音 祭 (文化祭)
11月29日 (金)	創 立 記 念 日 (休講)
12月24日 (火) ~ 1月7日 (火)	冬 期 休 業
平成15年	
1月8日 (水)	水曜の授業を開講せず月曜の授業開講
1月17日 (金) ・ 18日 (土)	大学入試センター試験のため臨時休業
2月4日 (火) ~ 17日 (月)	補 講 日・後学期末試験
3月24日 (月)	卒 業 式・学位記授与式

目 次

言語文化専攻	1
人文学専攻	11
発達社会科学専攻 (発達人間科学系)	21
発達社会科学専攻 (生活・開発科学系)	31
ライフサイエンス専攻 (生活科学系)	39
ライフサイエンス専攻 (生命科学系)	45
物質科学専攻	53
数理・情報科学専攻	61
担当教官名簿	67
付 表 行事予定表 前期課程専攻長及びコース代表者一覧	

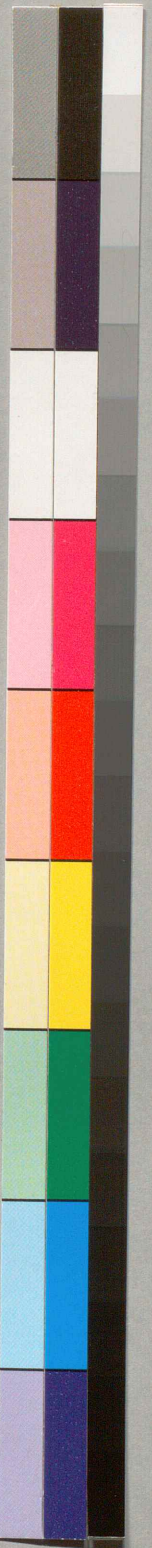
◎各欄の表示について

- ・科目番号
() 内は履修登録の際に記入する科目番号を表します。
 - ・履修年次
ローマ数字 (I, II) は履修年次を表します。
 - ・学 期
「前」「後」「通」はそれぞれ前期、後期または通年で開講されることを表します。
「集中」は、集中講義として開講されます。
- ※ (新) 科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新一年生以外は (旧) 科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

平成14年度 前期課程専攻長及びコース代表者一覧

専攻	コース	専攻長 (副専攻長)	コース代表者
言語文化専攻	日本語文化学	相原	大塚
	アジア言語文化学		宮尾
	英語圏・欧州言語文化学(英語圏)		西尾
	英語圏・欧州言語文化学(仏語圏)		中村(俊)
	日本語教育		長友
人文学専攻	思想文化学	片岡	佐藤(頼住)
	歴史文化学		秋山
	服飾文化学		吉村
	舞踊・表現行動学		石黒
	音楽表現学		永原
発達社会科学専攻 (発達人間科学系)	教育学	(副)塚	三輪
	心理学		内藤(俊)
	発達臨床心理学		伊藤(美)
	応用社会学		平岡
発達社会科学専攻 (生活・開発科学系)	社会臨床論	田宮	箕浦
	生活政策学		杉田
	地理環境学		内藤(博)
ライフサイエンス専攻 (生活科学系)	開発・ジェンダー論	(副)畑江	石塚
	食品科学		大塚
	栄養科学		仲西
	人間生活工学		鈴木
ライフサイエンス専攻 (生命科学系)	環境生活工学	芦原	小川(温)
	生物人間科学		山本
物質科学専攻	分子生物科学	浜谷	古川
	生命体科学		山田
	相関物質科学		森川
数理・情報科学専攻	分子科学	藤代	藤代
	物理科学		竹尾
	情報科学		榎本

言語文化専攻



言語文化専攻

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
近代日本語学演習 (02H0004) 古田 啓	I・II 通 4単位	(未定)
日本上代文学演習 (02H0006) 萩原千鶴	I・II 通 4単位	日本上代文学作品の中から、適宜対象を選び、注釈的研究の上に立って、その特性を考察する。
日本中古文学特論 (02H0007) 平野由紀子	I・II 通 4単位	(未定)
日本中世文学演習 (02H0010) 浅田 徹	I・II 通 4単位	江戸時代に刊行された(作者・成立未詳、室町末期か)『連集良材』を読む。同書は連歌に利用するために多くの中国故事を解説し、例句(七賢~宗祇の作が多い)を掲げたもの。広く享受された故事説話が多いのでその広がりを確認しつつ読み進めたい。版本コピー使用。
日本近世文学特論 (02H0011) 市古夏生	I・II 通 4単位	前期は近世の出版文化の諸相について講じる予定。後期は出版関係の資料を輪読する。
日本近代文学特論 (02H0013) 菅 聡子	I・II 通 4単位	近・現代の女性作家の作品を読む。ジェンダー、メディアなど種々の観点からのアプローチを試みる。 (受講要件) これまでに、日本近代(or現代)文学の演習の授業を履修していること。
日本現代文学演習 (02H0016) 大塚常樹	I・II 通 4単位	文学理論及び批評理論を積極的に修得することを第一とし、これらに自覚的に目くばりした日本近現代文学テキストの解析を第二段階として行なう。発表者は発表日の少なくとも一週間前までにレジュメの提出を厳守するものとする。 (備考) 理論書等の購入費を覚悟されたい。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)日本語表現論 (02H0021) アイリーン・B・マイカス・アダチ	I・II 前 2単位	近代・現代文学作品を中心としてジェンダーという問題を考え、日本文学に現われる女性像を研究する。
(新)日本表象文化論 (02H0022) アイリーン・B・マイカス・アダチ	I・II 後 2単位	文学作品に与えられている様々な文学賞について研究し、近代・現代において文学作品の名作を決める評価、基準について考える。
東アジア比較言語文化論 (02H0023) 和田英信	I・II 前 2単位	李善注文選講読
現代中国語圏文学演習 (02H0027) 宮尾正樹	I・II 通 4単位	近現代中国文学作品に表れる「母」について、女性作家の作品を中心に考える。各自、扱う作家や作品を決め、関係論文を読んだ後、報告する。
中国古典語学特論 (02H0028) 伊藤美重子	I・II 前 2単位	敦煌文献の中の教訓書の類を講読しながら、その語学的特質(俗字・俗語・白話的表現)を考察する。
現代中国文法学特論 (02H0031) 楊凱栄 相原茂	I・II 通 4単位	誤用の研究 日本人の手になる中国語の作文には様々なレベルの違いが見られる。この講義では学生の作文に出てくる誤用例をとりあげ、中国語の文法問題を考える。
現代中国文法学演習 (02H0032) 相原茂	I・II 通 4単位	現代中国語の文法と意味をめぐる問題を扱う。論文講読と学生の研究発表の形式で授業をすすめる。
アジア民俗文化論 (02H0033) 伊藤美重子	I・II 後 2単位	敦煌文献の中から童蒙教訓書に属する文献を講読しながら、その文化的特質を考える。
アジア言語芸術論 (02H0034) 和田英信	I・II 後 2単位	李善注文選講読

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
現代仏文学特論 (02H0036) 中村弓子	I・II 通 4単位	アンドレ・ジードの文学世界を、《茶番》と呼ばれる種類の小説『鎖を解かれたプロメテ』の精読・分析を中心として研究。導入の作家論についても、『プロメテ』のテキストも、全て教室でコピーを配布する。『プロメテ』については学生に分担・発表をして貰う。
近代仏文学特別演習 (02H0037) 村田真弓	I・II 通 4単位	バロック文学とその社会的背景および世界観について考察する。具体的作品にも触れる。資料・テキストはコピーを用いる。
現代仏文学特別演習 (02H0038) 中村俊直	I・II 通 4単位	フランス近現代詩における散文詩の展開の研究を行う。特にボードレール、ランボー、マラルメの散文詩と、その影響のもとに書かれた、ヴァレリーの散文詩を読む。散文詩の定義は実は微妙な問題であるが、韻文詩や物語と比較しての散文詩の詩学の特徴を考えてみたい。
仏言語表現論 (02H0041) 中村弓子	I・II 前 2単位	文学研究の方法についての研究。今年度は昨年に引き続きバシュラールを取り上げる。しかしテーマは昨年の《火》に対し《土》。テキストの《La terre et les rêveries du repos》は、使用部分のコピーを配布する。テキストの精読・研究をして後期の個別作品への方法の適用・発表に備える。
仏言語表現論演習 (02H0042) 中村弓子	I・II 後 2単位	文学研究の方法についての研究。前期の「現代仏文学特論」で精読したバシュラールの《La terre et les rêveries du repos》の方法を個別の作品に適用して発表して貰う。できれば前期の「現代仏文学特論」を取っていることが望ましい。
仏文学作品論演習 (02H0043) 中村俊直	I・II 前 2単位	ヴァレリーの散文作品の研究を行う。特に従来ほとんど重視されることのなかった彼の「物語(コント)」を読む。19世紀に書かれた「物語」からヴァレリーがどのような影響を受けたかを考える。そしてヴァレリーの考えていた「物語の詩学」について、その理念を明確にしたい。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
仏文学作家論演習 (02H0044) 中村俊直	I・II 後 2単位	ヴァレリーが19、20世紀の詩人や作家たちからどのような影響を受けて自己の文学世界を形成したのかを考察する。マラルメ、ポー、ジッドなどとの関係の他に、特に従来ほとんど研究されることのなかった、ヴィリエ・ド・リラダンやレオン・プロワとの関係を考える。
独文学特論 (02H0045) 菅野健	I・II 通 4単位	20世紀最大の作家の一人トーマス・マン(1875-1955)の『混乱と若い悩み』(郁文堂)を丁寧に読みながら、作品に描かれた時代の問題、当時の青年のさまざまな悩みのあり方についても考えていきます。文法的知識も常に再確認しつつ、読解力の向上をめざします。
近代独文学演習 (02H0046) 石丸昭二	I・II 通 4単位	前年度と同じオーストリアの現代作家R・ムーヅルのレーゼドラマDie Schwärmer(夢想家)を引き続き読みすすめる。新規の参加者には初回にこれまでのまとめを行うので心配はならない。ふるって参加されんことを期待する。 教材：プリントを配布。
英文学特論(作家・批評研究) (02H0047) 高橋和久	I・II 通 4単位	現代文学批評の潮流について通観し、とくにその中でも大きな力を感じさせるポストコロニアリズム批評を重点的に考察する。とくに教科書は用いないで、興味深い文献をコピーして読む。
英文学特論(作品研究) (02H0048) 内田正子	I・II 通 4単位	前期は、19世紀後半の自然観・人間観・社会観の大きな変化に密接に関わったHerbert Spencer(1820-1903)の <i>The Principles of Psychology</i> (1855)を読む。 後期は、Spencerと並ぶ19世紀後半の評論家であり、その広汎かつ拡散した業績の解説と分析が早急に必要なGeorge Henry Lewes(1817-1878)の <i>The Physiology of Common Life</i> (1859-1860)(予定)を読む。いずれもプリントを配布する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
米文学演習(作家論) (02H0053) 小池美佐子	I・II 前 2単位	〈わたし〉という語る主体の虚構性 1970年代以降のアメリカ文学には、女性作家の〈わたし〉語りの文学が急増する。リリアン・ヘルマンの〈自伝〉を取り上げ、その語りの〈真実〉と〈虚構性〉に注目しつつ作家論を試みる。 テキスト：Lillian Hellman, <i>Pentimento</i> . Little Brown.
米文学演習(作品論) (02H0054) 小池美佐子	I・II 後 2単位	行為主体としての〈わたし〉の物語 リリアン・ヘルマンほかの作家の自伝、小説、エッセイなど多岐にわたる文学作品における〈わたし〉というレトリックの戦略を、具体的に作品にあたって考察する。 テキスト：Jill Ker Conway, ed. <i>Written by Herself: Autobiographies of American Women: An Anthology</i> . Vintage Original.
文学ジャンル演習 (02H0058) 清水徹郎	I・II 前 2単位	西洋古典文学受容の問題をめぐって、英国ルネサンス文学の多様性を考察する。今年度は1580年代~90年代の叙事詩・エピソード・演劇の各ジャンルからいくつかのテキストを選んで比較する。 教科書：Raphael Lyne, <i>Ovid's Changing Worlds</i> (2001) 他
文学表象特論 (02H0059) 松崎毅	I・II 前 2単位	Jhon Miltonの <i>Comus</i> を読み、仮面劇におけるジャンルと表象の問題を考える。 教科書：J. B. Broadbent et al eds., <i>Odes, Pastorals, Masques</i> (Cambridge U. P.)
文学表象演習 (02H0060) 松崎毅	I・II 後 2単位	特論に引き続き <i>Comus</i> およびその批評を読む。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
批評理論特論 (02H0061) 竹村和子	I・II 前 2単位	G. Spivak の著作をまず読み、そののち英米文学（とくにアメリカ文学）におけるセクシュアル・ポリティックスの表象を考える。トランスナショナル、インターナショナルな視点は、ナショナル（ドメスティック）な力学と相互関係を持つ視点で授業をおこなう。 (備考) テキストは授業時に指示する。
批評理論演習 (02H0062) 竹村和子	I・II 後 2単位	英米文学（とくにアメリカ文学）をセクシュアル・ポリティックスの次元でどう表象されているかを考察する。適宜、ジュディス・バトラーの『アンティゴネーの主張』（2000年）に触れ、とくに親族関係の表象を取りあげる。 (備考) テキストは授業時に指示する。
英語学特論(統語論・意味論) (02H0063) 牛江ゆき子	I・II 通 4単位	指示表現の意味・機能に関して、意味論と語用論の両方の側面から考察する。教材はプリントを使用する。
英語学特論(形態論) (02H0065) 野口徹	I・II 前 2単位	文法における形態論の位置付けについては様々な説が提案されている。主に統語論との関係に関する様々な主張を整理し、妥当な方向性を探してみたい。 教科書：プリントを使用
英語学演習(文法理論研究) (02H0066) 今西典子	I・II 前 2単位	生成文法理論において普遍文法の内部構成が規則の体系から原理とパラメータの体系と修正された過程に焦点をあて、英語および日本語について種々な言語事象を検討する。講義の進行に応じて、いくつかの学術論文を指定し、詳細な考察を行う。
英語コミュニケーション演習 (02H0069) 西尾道子	I・II 通 4単位	英語を使っでのコミュニケーションを円滑かつ効果的に行なうためにどのような点に注目すべきかについて考察するため、情報の処理という視点、語用論的視点等から書かれた論文を読む。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
英語教材開発法研究 (02H0072) ダイアン・ホーリー・ナガトモ	I・II 通 2単位	This class will examine factors necessary in developing effective second language teaching materials to provide language learners with appropriate opportunities to learn not only the four basic skills of language (reading, writing, listening and speaking) but also to learn the culture which surrounds the language itself. Students will be required to read extensively, write weekly summaries of readings, present regularly to the class, prepare several projects and write a final paper. Handouts will be provided
日本語学演習 (02H0074) 鈴木泰	I・II 通 4単位	各人の研究発表を中心としつつ、ボンダルコの論文を読む。
日本語文化学特論 (02H0076) 小峯和明	I・II 通 4単位	安楽院の澄憲の唱導資料として知られる金沢文庫蔵『釈門秘論』を演習形式で注釈をつけながら読解する。 詳細は開講時に説明する。 必読文献：阿部泰郎「唱導における説教と説教師—澄憲『釈門秘論』をめぐるて」（『伝承文学研究』45号）
日本語教育学特論 (02H0078) 岡崎眸	II 通 4単位	日本語教育学の基礎理論に基づいて(1)4技能教育、(2)日本語習得と母語保持、(3)年少者の日本語教育などの領域で、各自テーマを決め、先行研究をまとめ、研究課題を設定し、調査・実験計画を立てて実施し、結果を整理し論文にまとめる。この過程で相互に評価し練り直す作業を行なう。
日本語指導法演習 (02H0079) 長友和彦	II 通 4単位	日本語指導法の理論を検討し、理論をシラバスデザインに応用する能力及び日本語能力の評価測定の技能を養うことを目的とし、各種日本語教育プログラムの調査研究、試験問題の作成、実施を通して、条件に応じた教育プログラムの作成を試みる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
言語分析学特論 (02H0080) 長友和彦	I 前 2単位	文献講読を通して、これまでの言語分析学の対象・方法・内容を概観し、日本語教育に応用できる言語分析学のあり方を具体的に検討する。特に、日本語学習者の言語を対象とした研究を史的に概観し、言語習得研究とその応用に結びづく言語分析学の可能性を探る。
言語分析学演習 (02H0081) 長友和彦	I 後 2単位	実際に使用されている言語の分析法を学習する。特に日本語学習者の言語を分析対象とし、その日本語の習得過程を音声・文法・談話・社会言語能力という観点から明らかにする方法を学ぶ。
日本語教育方法論演習 (02H0083) 岡崎 眸	I 通 4単位	多言語・多文化時代の日本語教育を支える日本語教育学の基礎理論を学ぶことを目標として、第二言語習得、日本語教育、母語保持教育の各領域で発表されている内外の論文を批判的に読み、各論文について研究の理論的枠組み、得られた知見、残された課題、研究の評価などについてサマリーを作る。
日本語音声表現特論 (02H0085) 西沼行博	I・II 前集中 4単位	音声の生成・知覚に関する基礎的知識、及び音声の音響的特徴に関する基礎的知識を学ぶとともに、日本語音声の特徴について学ぶ。その上で日本語学習者における日本語音声習得上の困難点、指導法等について考察する。教材用プリントは授業で配布する。
日本語音声教育方法論 (02H0087) 村松賢一	I 通 4単位	日本語教師にとって必要な音声表現を、形式、機能、音声、学習者との相互作用等に亘って総合的に記述し望ましい姿を究明する。前期は、ティーチャートークに関連する諸理論を学び、後期は、各自がテーマを設定し、実際の発話データを分析してレポートを作成する。
比較言語教育学特論 (02H0088) 佐々木 泰子	I 通 4単位	日本語による様々な談話場面を言語行動の側面から分析するための方法論について文献講読を通して学ぶ。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
日本語教育実習 (02H0090) 岡崎 眸	I 前 2単位	多言語・多文化共生社会を担う日本語教師の養成を目指して、地域在住の外国籍・日本籍住民を対象とする「共生言語としての日本語」教育実習を行なう。特にコーディネータ及びファシリテータとしての役割を重視し、その技能の獲得を目指す。
対照言語学演習 (02H0094) 佐々木 倫子	通 4単位	対照言語学、特に対照語用論を中心に考える。具体的な研究例などを手がかりに、対照言語学とは何か、それは私たちにどのような貢献ができるのかを考えたい。そして、実際のデータにあたって、研究の可能性を実感する。 講義資料、および、参考文献は当日配布する。
日本語教育特論 (02H0095) 佐々貴 義式	I 前 2単位	研究関連情報を検索収集し整理する方法、学術文書作成の技法など、言語教育専門家として必要な諸技法を実習する。コンピューターの基本操作ができることが望ましい。
日本語教育特論演習 (02H0096) 佐々貴 義式	II 前 2単位	主として認知論・機能論的な枠組みと定量的アプローチに依拠しつつ、個々の学生の研究興味に応じて論題を設定し、先行関連研究の総括・研究方法の立案・結果の分析考察・プレゼンテーションの方法までを討議検討する。
言語教育統計 (02H0097) 黒澤 学	前 2単位	言語教育場面で採取されたデータの基礎的な解析法について扱う。統計・計算機に関する予備知識は要求しない。仮想的な言語教育データを用いて、記述・推測統計学の基礎と各種統計的仮説検定法を講義し、解析ソフトを用いた実習を行うというのが主な内容である。
言語教育統計演習 (02H0098) 黒澤 学	後 2単位	言語教育統計の知識を踏まえ、より高度なデータ解析の方法を扱う。主な内容は、各種多変量解析・古典的テスト理論と質問紙の作成・実験計画法の基礎・単一事例実験・メタ分析などである。参加者は自分で採取したデータをもって出席することが望ましい。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得が聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
言語教育情報リタラシー (02H0099) 佐々貴 義 式	I 後 2単位	前期に引き続き、インターネットをはじめとする情報テクノロジー(IT)を言語教育の研究と実践に活用するための実習を行なう。「日本語教育特論」を履修済みであることが望ましい。
言語教育情報リタラシー演習 (02H0100) 佐々貴 義 式	II 後 2単位	前期にひきつづき、研究諸技法を討議検討する。前期に「日本語教育特論演習」を履修済みであることが望ましい。
(新)認知言語学特論 (02H0101) 森 山 新	I 前 2単位	LangackerやLakoffなどの主要な論文を読みながら、認知言語学について知る。また第二言語習得研究への応用可能性について考察する。 Langacker (1990) Concept, image and symbol Lakoff (1987) Women, fire and dangerous things 他
(新)認知言語学演習 (02H0102) 森 山 新	I 後 2単位	認知言語学的観点を第二言語習得研究に応用してみる。 ①格助詞の意味のネットワーク構造 ②格助詞の習得順序と認知との関係 他 認知言語学特論を履修するなど、認知言語学についてある程度知っていることが望ましい。
(新)異文化間心理教育学特論 (02H0103) 加賀美 常美代	I 前 2単位	外国人学生の異文化接触、異文化間教育に関連する諸研究の文献購読を行う。また、外国人学生に教師(カウンセラー、アドバイザー)としてどのように教育的心理的援助を行ったらよいか方法論を学ぶ。
特 別 研 究 (02H0105) (言語文化専攻教官)	I・II 通 8単位	教官の指導の下に、各人のテーマに基づく修士論文の作成を目的とする研究を行う。

人 文 学 専 攻

人文学専攻

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
哲学特論 (02I0001) 土屋賢二	I・II 前 2単位	参加者に問題提起をしてもらい、全員で議論する。場合によって、論文を読んできてもらうこともある。ただし、参加者の顔ぶれにより、このやり方を変更する可能性がある。
哲学演習 (02I0002) 土屋賢二	I・II 通 4単位	参加者に発表してもらい、全員で議論する。羽入、三浦も参加する。
人文学基礎論 (02I0003) 土屋賢二	I・II 前 2単位	人文学がどういうものであるかを、具体的研究を通して理解してもらおう。履修に当たっては必ず指導教官に相談すること。
人文学基礎論演習 (02I0004) 土屋賢二	I・II 後 2単位	参加者に問題提起をしてもらい、全員で議論する。場合によって、論文を読んできてもらうこともある。ただし、参加者の顔ぶれにより、このやり方を変更する可能性がある。
形而上学特論 (02I0005) 羽入佐和子	I・II 後 2単位	ヤスパース哲学研究。 <i>Allgemeine Psychopathologie, Philosophie, Vernunft und Existenz, Von der Wahrheit</i> などの著作をもとに、哲学的真理と科学的真理について論じる。
形而上学演習 (02I0006) 羽入佐和子	I・II 通 4単位	ドイツ近現代哲学の文献講読。 おもにカントの哲学・倫理学関連の論文（ドイツ語・英語）をテキストとする予定。
科学哲学特論 (02I0007) 三浦謙	I・II 前 2単位	(未定)
科学哲学演習 (02I0008) 三浦謙	I・II 後 4単位	(未定)

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
倫理思想史特論 (02I0009) 高島元洋	I・II 通 4単位	近世日本における、儒教の意味について考えてみたい。本年度は、大坂・懐徳堂の儒教(『夢の代』)を取り上げる。毎回レポーターに発表してもらい議論する。テキストは日本思想大系『富永仲基・山片蟠桃』。
倫理思想史特別演習 (02I0010) 佐藤光子	I・II 通 4単位	日本の思想史を考える上で、必須の仏教に関する基本文献を講読する。テキストに関しては、授業の際に指示する。
倫理学特別演習 (02I0012) 高島元洋	I・II 通 4単位	荻生徂徠の『論語徴』をゼミ形式で読む。本書は、徂徠の『論語』の注釈書であるが、きわめてユニークなもので、『論語』の読み方にまだまだ様々な可能性があることがわかる。レポーターの報告を受けて、議論する。
社会文化特別演習 (02I0013) (思想文化学コース教官)	I・II 通 4単位	各自の研究を発表してもらい、それについて議論する。開講日に関しては、出席者と相談の上決める。
アジア政治文化特論 (02I0014) 三浦徹	I・II 通 4単位	アラビア語史料の輪読により、史料を読解する力をつける。また、欧文文献の講読により、論理力を高める。
アジア社会文化演習 (02I0017) 窪添慶文	I・II 通 4単位	受講者の研究テーマに即した文献を読み、それに関して議論を行う週と、テキストを輪読する週とを分けて、講義を進める。テキストは受講者と相談して決めるが、特に希望がなければ、各自の扱う時代の石刻史料を読むことにしたい。
西洋社会文化論 (02I0026) 安成英樹	I・II 通 4単位	フランス語文献(論文・史料)の輪読を通して、アンシャン・レジーム期のヨーロッパ社会を、さまざまな観点から考察しその特質を分析する。また参加者各々の研究報告を適宜織り交ぜる予定である。なお、テキストは初回授業時に参加者と相談の上で決める。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
日本社会史特論 (02I0030) 安田次郎	I・II 前 2単位	日本中世社会史の最近の成果をとりあげ、批判的検討を試みる。あらかじめテーマごとに報告者を定め、その報告をもとに出席者全員で討議を行う。司会は報告者が担当する。毎回少なくとも一回、全員に発言を求める。
日本社会史演習 (02I0031) 安田次郎	I・II 通 4単位	『寺務方諸廻請』紙背文書を読む。これは、興福寺別当在任時に、大乘院尋尊のもとにきた書状類である。それらの文書に裏に『寺務方諸廻請』(『大乘院寺社雑事記』)は書かれたのである。きわめて難解な史料であるが、途中脱落しない意欲的な受講者を望む。
歴史史料論 (02I0032) 古瀬奈津子	I・II 後 2単位	日本古代史の様々な史料、律令格式、正史、正倉院文書、出土文字史料、平安貴族の日記、平安時代の文書などを取り上げ、報告者は自らの研究テーマに基づいた報告を行い、全員で討議する。
歴史史料論演習 (02I0033) 古瀬奈津子	I・II 通 4単位	『令集解』賦役令を読み、律令制に関する基礎知識を修得するとともに、日唐令の比較を行い、日本の律令制の特質を考察する。『小右記』(寛仁元年〈1017〉12月条から)を講読し、律令制が変質した平安貴族社会の諸相を探究する。
日本政治経済史特論 (02I0034) 神田由築	I・II 前 2単位	近世都市大坂を素材に、支配のあり方、流通と商人仲間、商家の同族団の展開、文化の様相など、政治・経済・文化に関する諸問題について考察する。
日本政治経済史演習 (02I0035) 神田由築	I・II 通 4単位	近世都市大坂を素材に、近世の都市空間や社会構造の特質について考察する。毎回、担当者が史料(大坂に関するもの)を用意し、そこから読み取れる論点を提示した後、参加者全員による議論をする。
日本文化史特論 (02I0036) 小風秀雅	I・II 後 2単位	近代日本文化形成のあり方を、国際的視野のなかで考察したい。基本的には参加者の課題に即した発表を軸に進めていくが、共通するテーマについては、論文合評なども織り交ぜていきたい。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
日本文化史演習 (02I0037) 小風秀雅	I・II 通 4単位	日本における近代国家と国民の形成を、アジアおよびヨーロッパとの比較のなかで考察する。論文の輪読と各人の課題報告とを並行して行ないたい。
西洋史学方法概論 (02I0040) 山本秀行	I・II 前 2単位	西洋史学の方法、とくに最近の社会史研究を中心に、その動向や方法上の問題について検討する。今回は、ポストコロニアリズムという視点から、ナチズムと人種主義の問題を考えてみたい。
西洋史学方法概論演習 (02I0041) 山本秀行	I・II 後 2単位	ナチズムと第三帝国にかんするドイツ語を中心とした最新の研究をとりあげ、西洋史学の方法や視点、史料などについて比較、検討する。
西洋社会史概論 (02I0044) 新井由紀夫	I・II 前 2単位	昨年に引き続き、マイクロフィルムをつかい、15世紀イギリスの英語で書かれた手紙のマニュスクリプト(British Library, Ancient Correspondence, SC1)を読む。社会的ネットワークに留意して読んでみたい。
西洋社会史概論演習 (02I0045) 新井由紀夫	I 後 2単位	基本的に史料を読む。各自関心のあるテーマに関する史料を持ち寄り、そこから何がわかるのか、どう読んだら面白いかを議論する。平行して各人の研究報告も行う。
(新)西洋美術史特論(近代) (02I0054) 天野知香	I 通 4単位	フランスを中心とした西洋近代美術について、社会における芸術の位相、諸制度や観念の変質、イメージの在り方や機能、表象の意味や構造などを具体的な作品や出来事を通して考察する。
(旧)西洋美術史特論 4単位 (02I0954)		
(新)西洋美術史演習(近代) (02I0056) 天野知香	I・II 通 4単位	西洋美術史研究の基本である原文講読を通して、研究や対象分析の方法や視点を学ぶ。あわせて各自の研究状況や関心と関連した研究発表、文献紹介を行い、討論を通じてそれぞれの研究に対する問題意識を啓発する。(備考)テキストはフランス語を使用する。
(旧)西洋美術史演習 4単位 (02I0956)		

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)仏教美術史特論 (02I0059) 秋山光文	I 通 4単位	最近の仏教美術史学研究成果に基づいて、古代インドから広く仏教文化圏に展開する造形美術を通じ、「仏教美術にみる聖域装飾のプログラム」を考察する、特に南アジアを中心に我が国に及ぶ仏教文化圏諸地域について地域性と歴史的背景から検証していく。現地での撮影したカラースライドや、必要に応じて他の視覚メディアを使用しながら理解しやすい講義を進めたい。
(新)仏教美術史演習 (02I0061) 秋山光文	I 通 4単位	Klemens Karlsson, <i>Face to Face with the Absent Buddha, The Formation of Buddhist Aniconic Art</i> , Uppsala University Library, Stockholm, 2000. を底本としながら、インド古代仏教美術における説話図の特質について考察したい。 テキストはコピーで配布する。
歴史・地理特別演習 (02I0062) 内田忠賢	I・II 通 4単位	地域史の諸問題。前期は、地域史に関する論文を読み、様々な視点や方法を学びます。歴史学だけでなく、地理学、民俗学、社会学など隣接諸分野の成果に目配りします。後期は、具体的なフィールドを設定し、資史料の検討およびフィールドワークを行います。フィールド候補は、栃木県足尾町(現地調査実習は、2泊3日程度)。なお、履修予定者は、あらかじめ担当者までアプローチして下さい。 (備考)地理環境学コース科目(計4単位)で、前期もフィールドに出ます(候補地:熊本県水俣市、4泊5日)。フィールドワークを磨きたい人は、そちらの履修もご検討下さい。
日本服飾文化論演習 (02I0064) 吉村佳子	I・II 前 2単位	奈良時代から平安時代を対象に、日本人の服飾の美意識について考える。
西洋服飾文化論演習 (02I0066) 徳井淑子	I・II 2単位	近年のフランスで発売された近代服飾(あるいは風俗)に関する論文(もしくは著作の一部)の講読を通して、服飾文化史の課題、およびその調査の方法を学ぶ。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
風俗文化論演習 (02I0068) 鈴木禎宏	I・II 前 2単位	工芸品などの「もの」を論じる際の方法・視点などについて検討し、「比較生活文化論」の構築を試みる。今期は「パトロン」「コレクション」「市場」「助成制度」などを扱う予定。
芸術文化特論 (02I0071) 西村清和	I・II 通 4単位	《小説の映画化》小説を映画化するとき、人はしばしば自分の抱いていたイメージとちがうと感じる。それは、言葉と映像という異なったメディアにおける表現方式や文法の違いによる。物語論や映画論を参照しつつ、言葉の意味やイメージ、メタファーといった問題を考える。
服飾文化特論演習 (02I0072) (服飾文化学コース教官)	I・II 通 2単位	服飾は人間の生活に常に密接に結びついており、従って生活観や生活意識の調査には服飾意識の分析を欠かすことはできない。服飾文化の諸事象を通して、いかに生活文化の諸相を解明できるか、その考察の方法を日本と西洋において歴史的に、また現代生活について情報化の側面で、それぞれ具体事例をもって検討する。
上演舞踊学特論 (02I0073) 石黒節子	I 前 2単位	舞台の表象をコミュニケーションの視点から捉え、舞踊創作のプロセスにおける振付者、踊り手、観客の関係から考察し、劇場舞踊の発展について概説するとともに、現代における上演のあり方について述べる。
上演舞踊学実験演習 (02I0074) 石黒節子	I 通 4単位	舞踊のテキストとしての動きの特徴を、映像資料や文献の講読を通して把握し、それを記述したり、振り付けの意図や背景とのかかわりを検討する。
舞踊芸術学特論 (02I0075) 片岡康子	I 後 2単位	20世紀の舞踊芸術を対象に舞踊芸術学研究的視点と方法について検討する。各自の研究テーマに即しながら関連文献の講読を通して舞踊芸術論への理解を深め、個別作品とそれらの関連性(時代表象)を課題として実践的な分析・考察を行う。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
民族舞踊学特論 (02I0076) 中村美奈子	I 後 2単位	民族舞踊学、舞踊人類学に関する基本文献の輪読、報告および討論を行い、民族舞踊学の基礎的方法論について修得する。また、最近の研究動向や研究成果(論文)についても検討し、民族舞踊学の新しい方法論を探る。参考書は授業の中で指示、資料はその都度配布する。
舞踊方法論実験演習 (02I0077) 片岡康子	I 通 4単位	芸術舞踊および民族舞踊の実践や研究に必要な情報収集法、客観的記録法およびその分析法の検討を行う。机上での議論にとどまらず、舞踊が実演される現場でのフィールドワークや分析実験等をおこないながら、それぞれの手法や利点の限界をさぐり活用・応用の可能性について具体的に討議する。
現代スポーツ論演習 (02I0079) 新名謙二	I 前 2単位	スポーツマネジメントに関する英語文献の講読を行う。毎回担当者を決め、担当箇所の要約を発表し、受講者全員で質疑応答を行う形式で進める。テキストは開講時に指示する。
表現行動論特論 (02I0080) 未定	I 未定 2単位	未定
表現行動科学特論 (02I0081) 大築立志	I 2単位 後	人間は、話す・歌う・書く・身振りなどの身体動作によって自己を表現し、環境や他者と交流しつつ生活し文化を創造する。本講義では、これらの動作や、スポーツ・舞踊・美術・工芸などの表現行動を、脳・神経系による意識的コントロールメカニズムの観点から解説する。
表現行動科学実験演習 (02I0082) 水村真由美	I 前 2単位	運動としての表現行動の特性を、自然科学的手法を用いて調査する意義について、先行研究抄読および簡単な実験実習を通じて学ぶ。 (備考)解剖学および生理学の基礎的な知識を有する者の受講が望ましい。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
ピアノ演奏学演習 (02I0084) 遠藤 秀一郎 井上 百合子	I・II 通 4単位	(遠藤) 古典から現代に至る各様式のピアノ作品を学ぶ。より一層の技術的・音楽的向上をめざそうとするものである。 (井上) 楽曲研究に於ける芸術性の探究。演奏の為の奏法及び高い技術の修得。芸術作品の生成に於ける必然性の解析。演奏の社会的意義と影響。芸術追究の過程に於ける人間性の確認。
(新)ピアノ表現演習 (02I0085) 遠藤 秀一郎	I・II 通 4単位	ピアノについて、その多様な演奏表現を比較研究する。時代的に異なった様式の作品を取り上げながら、奏法、音響、楽譜の解釈、楽曲構造の分析、音楽史的位置などを、実際のピアノ演奏によって検討する。また、独奏作品のみならず他の楽器とのアンサンブルもとりあげてピアノ演奏のもつ様々な側面を実践的に考察し、ピアノによる表現の可能性を追求する。
声楽演奏学演習 (02I0087) 林 廣子 林田 きみ子	I・II 通 4単位	(林) 多様な声楽作品について、その演奏表現を発声法・作品背景、楽曲構造等から研究・実習する。 (林田) フランス歌曲の歴史的な流れに沿いながら、演奏法を研究する。 教科書：ピエール・ベルナック著・林田きみ子訳『フランス歌曲の演奏と解釈』(音楽之友社) (備考) 国内外の演奏家の公開講座が年に1度行われる。
(新)声楽表現演習 (02I0088) 林 廣子	I・II 通 4単位	イタリアのベルカントによるオペラアリアを中心とした声楽曲について、その演奏表現を音楽表現的側面とともに、身体的側面をも考察することによって、西洋音楽における代表的な声楽演奏表現を総合的かつ実践的に研究する。
民族音楽学演習 (02I0090) 薦田 治子 永原 恵三	I・II 通 4単位	人間の音楽行動を中心に研究する学生・院生のためのゼミナールの形式の授業。徳丸吉彦『民族音楽学理論』(東京：放送大学教育振興会、1996)にそって、人間と音楽の関わり合いの様々な局面を考える。文献の講読と発表を輪番で課す。

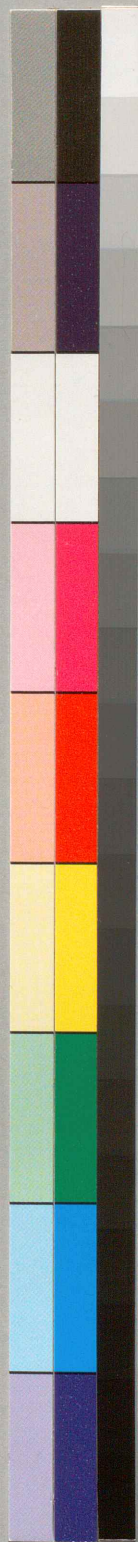
※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
音楽学特論 (02I0091) 永原 恵三 近藤 譲	I・II 通 4単位	音楽学の研究と発表および論文作成のための文献操作と発表の技術、質疑応答の洗練をめざす総合的ゼミナール。徳丸吉彦『民族音楽学理論』(東京：放送大学教育振興会、1996)の文献表を参考にする。
音楽学演習 (02I0092) 永原 恵三	I・II 通 4単位	音楽学の諸問題に関する研究と討論を行なう。毎回担当を決めて、国内外の近年の研究論文を1編取り上げて、発表と質疑応答によってすすめる。基本的に音楽学専攻の者を対象とするゼミナール。多様な音楽学の分野に対する理解と考察をめざす。
(新)音楽理論特論 (02I0093) 近藤 譲	I・II 通 4単位	近・現代の西洋音楽とそれに関連した諸問題の理論的、美学的、音楽学的研究、及び、当該研究領域の文献研究を中心とするゼミナール。
特別研究 (02I0095) (人文学専攻教官)	I・II 通 8単位	教官の指導の下に、各人のテーマに基づく修士論文の作成を目的とする研究を行う。

期	目次	目次	目次	目次
第1期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第2期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第3期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第4期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第5期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第6期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第7期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第8期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第9期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第10期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第11期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第12期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一
第13期	上野 弘	長 瀬 昌 雄	大寺 謙 吉	吉 田 隆 一

発達社会科学専攻

(発達人間科学系)



発達社会科学専攻（発達人間科学系）

※（新）科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は（旧）科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)教育思想特論 (02J0001) 小玉重夫	I・II 前集中 4単位	教育における政治と権力の問題を、フーコー、アレント、アガンベンらの議論をもとに検討する。本年度は前期の開講となるが、日程の詳細については初回のゼミ時（4月16日、10時40分開始）に説明し、打ち合わせる予定である。内容の詳細は以下のサイトも参照されたい。 (備考) http://www.li.ocha.ac.jp/hss/edusci/kodama/
(新)教育史演習 (02J0004) 米田俊彦	I・II 通 4単位	参加者の研究関心をふまえつつ、教育史の基本的な文献（近年刊行された『日本の教育史学』その他の学会誌所収論文、学位論文を公刊したもの等）の読み合わせを行う。テーマに応じた史実の把握の仕方や研究方法の修得を目指す。
(新)教育政策科学特論 (02J0005) 勝野正章	I・II 前 2単位	以下の文献を読み、戦後日本の教育政策・教育政治について検討する。 Aspinall, R. W. (2001) Teachers' Unions and Politics of Education in Japan, State Univ of New York Press.
(新)教育政策科学演習 (02J0006) 勝野正章	I・II 後 2単位	現代の学校経営改革、教員制度改革を中心に比較教育政策研究の観点から考察を進める。
教育社会学特論 (02J0007) 耳塚寛明	I・II 通 4単位	前期は、以下の文献を読む。 Arrow, K., Bowles, S. and Durlauf, S. (ed), <i>Meritocracy and Economic Inequality</i> , 2000 後期は、参加者の関心に応じて、教育社会学の特殊テーマを設定し、レビューを行う。
教育行財政学特論 (02J0009) 勝野正章	I 前 2単位	教育政策科学特論を参照。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
教育行財政学演習 (02J0010) 勝野正章	I 後 2単位	教育政策科学演習を参照。
生涯学習論特論 (02J0015) 三輪建二	I・II 通 4単位	生涯学習（成人教育）に関する基本文献を読み、内容の理解および研究方法について考察する。後期は、各自の研究テーマについて、問題関心の所在、研究方法、仮説と検証などの角度から論じあう。 参考書：ノールズ『成人教育の現代的実践』鳳書房（備考）社会人院生や現職教員院生の参加を歓迎する。
博物館学特論 (02J0017) 鷹野光行	I・II 通 4単位	歴史系博物館の教育活動を、学校教育との関わりに重点を置いて、博物館の館報や年報などを資料として検討する。
心理社会行動論演習 (02J0024) 坂元章	I・II 通 4単位	心理社会行動に関する最近の英語文献を講読し、この研究領域の現在の動向を知る。扱う文献は、候補として、 <i>Advances in Experimental Social Psychology</i> の各巻を考えているが、最終的に受講者の希望を重視して決めたい。
人格形成論演習 (02J0026) 内藤俊史	I・II 通 4単位	道徳性とその発達をとらえる枠組み、及び道徳性発達を促す諸要因について、最近の研究論文をとりあげ、具体的な研究方法とともに討議により学ぶ。さらに、これらの成果に基づいて構成された道徳指導のあり方を比較検討する。
心理発達論演習 (02J0028) 内田伸子	I・II 通 4単位	Handbook of Child Psychology 1997年版4巻から各自の研究テーマに関する概観論文を選択してレジユメを作成し、関連する重要文献を3点選んで各自の研究テーマと関係づけてレジユメを作成し発表する。これについて批判的に討論することにより研究方法論について習得する。

※（新）科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は（旧）科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
認知科学基礎論 (02J0029) 石口彰	I・II 前 2単位	認知科学の基礎として、本年度は、人間の推論過程、とくに演繹的推論に関し、包括的に検討する。 テキスト：Evans et al. (1993) <i>Human Reasoning</i> . Johnson-Laird & Byrne (1991) <i>Deduction</i> Rips (1994) <i>The Psychology of Proof</i>
認知科学基礎論演習 (02J0030) 石口彰	I・II 前 2単位	認知科学の基礎として、本年度は、人間の推論過程、特に演繹的推論に関し最近の研究論文を批判的に検討する。「認知科学基礎論」と並行して開講されるが、単独で履修することも可能。
(新)人格発達論 (02J0035) 菅原ますみ	I・II 前 2単位	人間の行動に見られる個体差について、その発生的起源や発達過程について、新生児期から老人期に至るまで、ライフスパンの視点から論じる。またそれらが個人の社会的適応にそのように関わっているか考察する。 参考書籍・文献：授業内で適時紹介していく。
(新)人格発達演習 (02J0036) 菅原ますみ	I・II 後 2単位	人格発達研究に関する最近の動向を概観する。また、関連する文献を読み、討論していく。 参考書籍・文献：授業内で適時紹介していく。
人間関係学特論 (02J0037) 黒田淑子	I 通 4単位	人間関係に関する内外の学術誌を講読し、人間関係の理論・方法論について学ぶとともに、三者面談、グループワーク、アクションメソッド、心理劇他を通して、人間関係の臨床、集団精神療法、日常生活にひらかれたカウンセリングのあり方を探究する。
カウンセリング特論 (02J0039) 宮田敬一 青木紀久代	I 前 4単位	前期は、カウンセリング・心理療法を行ううえで重要な学派的理論とその技法について概説する。さらに、人格形成について体系的理論を持つ精神分析理論を取り上げ、病態水準に応じた心理療法の適用を学ぶ。後期は、モデルとなる事例研究を多く紹介し、異なる学派から、同一事例がどう理解されるかを論じる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
障害臨床学特論 (02J0041) 宮田敬一	I 後 2単位	ブリーフセラピーとナラティブセラピーに関する理論を学び、障害児を含む子どもの問題を中心として、その介入法について考察する。
臨床心理学特論 (02J0045) 伊藤美奈子 伊藤亜矢子	I 前 4単位	発達臨床心理学に関するテーマについて、広く関心を広げるとともに、その関心を実証研究につなげていくための方法論を学ぶ。小グループでの研究や、その結果のプレゼンテーション、さらには全体でのディベートを通してそれぞれの関心を深めることを目指す。
発達臨床心理学研究法特論 (02J0046) 無藤隆	I 後 2単位	発達臨床心理学の方法論として、特に、多変量解析を中心とした研究法を学ぶ。心理学のデータに応用する場合の実際的な対処の仕方を理解できるようにする。 テキストは、英語の応用統計の著作の予定である。
学校臨床心理学特論 (02J0047) 伊藤美奈子	I 後 2単位	日本におけるスクールカウンセリングの特徴、教師コンサルテーションなど、学校臨床の基本となる事柄について学ぶ。その上で、学校臨床実践の具体例について、事例論文や各自の実践を参加者にレポートしてもらい、スクールカウンセリングについて理解を深めたい。
家族療法特論 (02J0049) 生島浩	I 後集中 2単位	家族療法の諸理論と各種技法を論じる。非行、家庭内暴力、摂食障害等への家族療法の実践を示し、変貌する家族への心理・社会的援助について論考したい。 教科書：生島浩著「悩みを抱えられない少年たち」(日本評論社)
医療心理学特論 (02J0050) 忽滑谷和孝	I 後集中 2単位	実際の医療現場での精神医療の把握、理解することを目的とする。総論として、精神の異常を症候学的に理解し精神分裂病、気分障害、神経症、ストレス関連疾患、身体表現性障害、人格障害の疾患別特徴とその治療法、更には、精神保健福祉法についても触れる。
応用発達心理学特論 (02J0051) 無藤隆	I 後 2単位	Psychological Bulletinなどの雑誌論文から、発達心理学・臨床心理学・人格心理学関係のものを取り上げ、応用的・臨床的な観点から検討する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
発達臨床心理学特論 (02J0052) 青木紀久代	I 後 2単位	発達臨床心理学の最近の研究・実践の動向を紹介しつつ、特に乳幼児期の心理臨床について事例をもとに検討する。参加者は、授業の最初にレポートする文献、ないしは、提供する自験例を決定し、毎回順番に発表し、討議を全員で行うものとする。
コミュニティ心理学特論 (02J0053) 伊藤亜矢子	I 後 2単位	学校コミュニティへのアプローチを中心に、危機介入コンサルテーションなどコミュニティ心理学的なアプローチについて学ぶ。教師-生徒関係や学校風土など、学校コミュニティを理解するための研究例についてもとりあげ、参加者全員での発表・討論を行いたい。
心理療法特論 (02J0054) 井原成男	I 後 2単位	心理療法の様々な側面についてとりあげる。症例検討を中心に探求することになるが、今年度は、病院臨床の中で経験したケースにサンド・プレイを施行した自験例について検討し、サンドプレイそのものについての文献を分担して読む予定である。
臨床心理査定演習 (02J0055) 井原成男 藤田宗和	I 通 4単位	心理査定の代表的な技法であるロールシャッハ・テスト、TATなどについて触れながら、人格測定の本質について考える。時間の許すかぎり、その他の技法についても取り上げたい。各自の関心のある技法についてまとめたものをレポートしてもらおうとも考えている。
臨床心理基礎実習 (02J0056) 井原成男 宮田敬一 藤田宗和 伊藤美奈子 青木紀久代 伊藤亜矢子	I 通 2単位	臨床心理学の基礎としてまず学ばなければならない態度を実習する。次に、初回面接から診断面接、導入期等で異なるクライアントへの対応のポイントを体験学習する。さらに、心理検査を習得するために必要な基本的な実習体験を持つ。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
臨床心理実習 (02J0057) 井原成男 宮田敬一 藤田宗和 伊藤美奈子 青木紀久代 伊藤亜矢子	Ⅱ 通 2単位	基本的面接方法を、相談内容の類型別に学ぶとともに、面接初期の期待過剰、面接中期の抵抗、面接終結期の分離不安など面接中に起こってくる様々な諸相に対する対処法を実習する。 さらに各担当を通して、臨床心理学的面接にも様々な様式や方法があることを学ぶ。一つの事例に対してもそれぞれ発達心理学的考察、精神力動的考察、来談者中心的考察など様々な見解があることを知り、それぞれの対応法で最善を求めたとき、臨床心理学的面接では何ができ、治療者としてどのように対応していけばよいのかを、個々に実習した事例の検討を通して深めていく。
生涯発達心理学特論 (02J0058) 無藤隆	Ⅰ 前 2単位	Handbook of Pediatric and Clinical Child Psychology から、研究の進め方の実際についての章を読み、発達臨床心理学の研究の力の向上を図る。
(新)非行臨床心理学特論 (02J0059) 藤田宗和	Ⅰ 前 2単位	非行・犯罪理論及び現状を概説するとともに、臨床心理学的視点からの非行少年の人格、原因の理解を通して、青少年の健全な発達のための援助、指導のあり方を考える。
社会集団論演習 (02J0061) 天野正子	Ⅰ 通 4単位	社会集団に関わる社会学領域の諸理論について学習する。とくに既存の社会集団論をジェンダーの視点から見直す何がみえてくるかを明らかにする。同時に各自の問題関心にしたがって、現実の社会集団をとりあげ、その編成原理や社会的契機を検証する。
社会意識論演習 (02J0063) 坂本佳鶴恵	Ⅰ 通 4単位	文化とアイデンティティをテーマにした最近の文献を講読、議論することと、個人のテーマに基づいた研究発表の双方をおこなう。前者は、アイデンティティ論、物語論、構築主義、カルチュラルスタディズ、マルチカルチュアリズムなどの文献が対象となる。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
社会福祉論 (02J0064) 平岡公一	Ⅰ 通 4単位	前期は、社会政策論・社会福祉論の主要なテーマについての、最近の研究動向を知る上で有益と考える論文を読み、若干の講義でこれを補う。履修者は、事前に教科書の各章を読んでおく。後期は、NPO・市民社会に関する英文の文献を読む。 教科書：三重野・平岡編『福祉政策の理論と実際』東信堂。
現代社会論演習 (02J0067) 濱日出夫	Ⅰ 前 2単位	構築主義に関して日本語で読める文献を中心に講読し、構築主義の系譜・現状・可能性について考察する。とくに歴史の構築主義に焦点を当てて考察したい。
社会変動論演習 (02J0069) 伊藤智樹	Ⅰ 前集中 2単位	アルコール依存と死別体験を事例とし、人々がセルフヘルプ・グループに集い自らを語ることの意味を論じ、現代社会におけるこれら小集団の意味を探る。 教科書：山崎章郎『病院で死ぬということ』文春文庫(授業で一部を輪読するので事前に用意されたい。)
(新)青少年指導文化論 (1)02J0070 (2)02J0570 酒井朗	Ⅰ・Ⅱ 前 2単位	グラウンディドセオリー法に関する概説書と関連論文を読み、(1)カテゴリーを見出す、(2)当事者の意味世界をさぐる、という質的方法論の中心的な2つの課題について、その考え方や具体的な分析手順について検討する。
(新)青少年指導文化論演習 (1)02J0071 (2)02J0571 酒井朗	Ⅰ・Ⅱ 後 2単位	アイデンティティの概念をキーワードにして、情報化、国際化といった社会変容と自己との関わりを捉える視点について検討する。文献は後日提示するので、sakai@liocha.ac.jp に問い合わせること。
(旧)青少年指導文化論 (02J0973) 4単位 青少年指導文化論と 青少年指導文化論演習 を履修すること。		参考文献：石川准『アイデンティティ・ゲーム—存在証明の社会学』新評論、1992、梶田孝道編著『国際化とアイデンティティ』ミネルヴァ書房、2001

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
心理臨床論 (02J0076) 西澤 哲	2単位	今日、子どもの虐待という現象が社会的関心を集めるなか、心理臨床家が虐待を受けた子どもの心理療法にあたる機会が増えてきている。そこで本講義では、虐待の心理的影響をトラウマ論の観点から検討し、被虐待体験を持つ子どもへの心理的援助のあり方について見てゆく。
心理臨床論演習 (02J0077) 箕浦 康子	II 後 2単位	「フィールドワーク中級」社会臨床研究方法論の一つであるフィールドワークを、特にフィールドデータの分析とエスノグラフィーを書くことを中心に学ぶ。初心者は、観察・面接の技法、フィールドノートの作成などの初級フィールドワークを、学部の臨床心理学演習(前期)で学んだ上で、本演習に参加してほしい。
(新)乳幼児臨床学特論 (02J0080) 田代 和美	I・II 前 2単位	保育に関する文献を何冊かレポーター制で読み、ディスカッションを行う。文献については後日指定する。
(新)乳幼児臨床学特論演習 (02J0081) 田代 和美	I・II 後 2単位	保育に関する領域内でテーマを掲げ、研究計画を立て、実際にデータをとってまとめる。
(旧)保育臨床学特論演習 (02J0978) 4単位 乳幼児臨床学特論と 乳幼児臨床学特論演習を履修すること。		

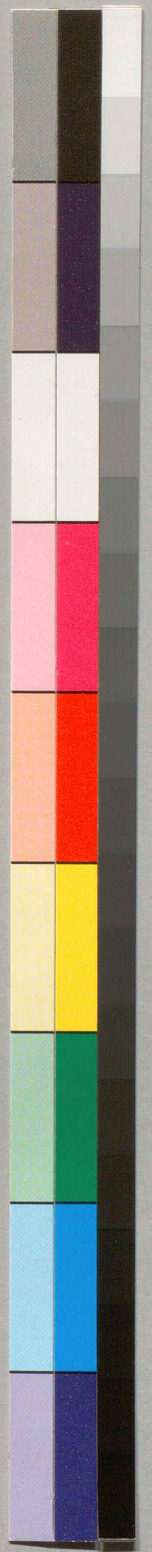
科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
社会臨床論基本研究 (02J0083) 笹尾 敏明	I・II 前 2単位 (隔週) (2コマ履)	コミュニティ・生態学的アプローチによる社会問題への予防的介入の理論と介入プログラム評価に関する実証研究を吟味し、社会臨床領域における学生の関心テーマに応じ、文献レビュー及び研究企画の作成をゼミ形式でおこなう。トピックとしては、予防介入の意義、予防科学の概念、コミュニティ(地域、学校等)における介入の実際、プログラム評価の方法と問題点、介入における文化の多様性の諸問題を含む。リーディングは授業で随時配布されるが、最近の(英語による)コミュニティ心理学・応用社会心理学関連の学術雑誌からの文献が主である。隔週毎、各自発表及び活発な討論を期待する。
文化心理学基本研究 (02J0084) 箕浦 康子 (旧)メンタルヘルス論演習 (02J0984) 4単位 文化心理学基本研究と 文化心理学演習を履修すること。	I・II 前 2単位	「ライフコース研究をめぐる諸問題」ライフコースは文化によって、また時代によってどう違うのか、さまざまなライフステージで出会う出来事、例えば、留学・転勤・病気などの個人的事象と歴史はどのように交わるのかを history in life という観点から考える。また、研究方法論としての person centered ethnography の手法についても検討する予定である。
文化心理学演習 (1)02J0085) (2)02J0585) 箕浦 康子	II 前 2単位	社会臨床の領域で個別研究を行う学生のための研究指導をグループディスカッション形式で行う。
発達社会科学論 (02J0086) 無藤 隆	I 前 2単位	発達臨床心理学コースの所属生のために、主に、統計的な方法を解説する。英語の応用統計の解説書を読む。基本的な統計の知識を前提とするので、それは学んでおくこと。日本語の関連する解説書も自分で読むこと。

※ (特) 特許は、卒業論文の指導にのみ対応しております。新1年生以外は (特) 科目の履修はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
発達社会科学論 (02J0086) 内藤俊史	I 前 2単位	発達社会科学専攻の必修科目として、教育、社会、心理の学問分野のテーマ、方法論を学ぶことによって、学際的な基礎を得ることを目的とする。いくつかのコースが開かれるので、履修にあたっては指導教官と相談のこと。
特別研究 (02J0087) (発達人間科学教官)	I・II 通 8単位	修士論文の作成を目指し、その計画および実施について、各教官による演習および個別指導を行なう。

発達社会科学専攻

(生活・開発科学系)



発達社会科学専攻（生活・開発科学系）

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
家庭科教育学特論 (02J1002) 牧野 カツコ	I・II 前 2単位	イギリスの保育教育のテキスト Pamela Minett, "Child Care and Development" John Murray. 2000 4th ed. を読む。この他アメリカにおける保育に関する教育内容と教育方法を知り、日本の家庭科教育への示唆を得る。
家族関係学演習 (02J1003) 牧野 カツコ	I・II 後 2単位	過去数年の "Journal of Marriage and Family" の中から、parenting および fatherhood に関連する文献を読み、アメリカにおける親子関係の研究動向を知る。特に先行研究の整理の方法、研究仮説の設定方法、資料収集の方法、分析の方法、考察の仕方など、研究方法を学ぶ。
消費者問題論 (02J1004) 大森 正博	I・II 前 2単位	消費者経済学に関わるテキストブックをレポーター方式で輪読する。テキストブックは、参加者と相談して決めるが、消費者保護、医療・介護、流通、金融等の問題を広範に扱ったものを考えている。本講義によって、参加者が研究テーマを発見すること、および分析の手法を習得することを期待している。
消費者問題演習 (02J1005) 大森 正博	I・II 後 2単位	「消費者問題論」の続編である。参加者に研究テーマを設定してもらい、具体的に研究を進める。1年生はリサーチ・プロポーザルさらにはターム・ペーパーを、そして2年生は修士論文を作成することを目標にする。
長寿社会論 (02J1006) 袖井 孝子	I・II 前 2単位	野々山久也・清水浩昭編「家族社会学の分析視角」(ミネルヴァ書房)を読み、家族社会学の理論や研究方法を学ぶ。
長寿社会論演習 (02J1007) 袖井 孝子	I・II 後 2単位	老人問題は女性の老後問題だといわれる。Women & Aging, Journal of Gerontology, the Gerontologist に掲載された論文を読み、日米の比較を試みる。
生活法社会論 (02J1008) 小谷 眞男	I・II 前 2単位	下記テキストを講読しながら、犯罪と法について自由に議論する。 テキスト：T. D. ウェスターマン・J. W. バーフェイン ド『犯罪と裁判：日米の比較文化論』尚学社、2000年。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得が聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
生活法社会論演習 (02J1009) 小谷眞男	I・II 後 2単位	前期に引き続き、犯罪と法についてあれこれ考える。具体的な進め方は参加者と相談して決める。
生活政治論 (02J1010) 杉田孝夫	I・II 前 2単位	Mary Wollstonecraft, <i>A Vindication of the Rights of Men</i> (1790) を精読する。使用テキストは、Cambridge Texts in the History of Political Thought 所収の Mary Wollstonecraft, <i>A Vindication of the Rights of Men and A Vindication of the Rights of Woman</i> (備考) (Cambridge UP, 1995. ISBN 0521 43633 8 pb.)
生活政治論演習 (02J1011) 杉田孝夫	I・II 後 2単位	Mary Wollstonecraft, <i>A Vindication of the Rights of Woman</i> (1790) を精読する。使用テキストは、Cambridge Texts in the History of Political Thought 所収の Mary Wollstonecraft, <i>A Vindication of the Rights of Men and A Vindication of the Rights of Woman</i> (備考) (Cambridge UP, 1995. ISBN 0521 43633 8 pb.)
生活経済論 (02J1012) 御船美智子	I・II 前 2単位	「マネー」をめぐる家族内経済関係について、夫と妻、親と子を中心に検討する。 テキスト：室住真麻子『世代・ジェンダー関係からみた家計』法律文化社、2000年。
生活経済論演習 (02J1013) 御船美智子	I・II 後 2単位	前期に引き続き、家族の中の「マネー」について考える。特に財務組織と役割分担について検討する。 テキスト：Gail Wilson, <i>Money in the Family</i> 他。
(新)生活政策学演習(方法論基礎) (02J1016) 小谷眞男	I・II 前 2単位	生活政策学基本文献講読。今年度は小谷が担当し、下記テキストを読む。 テキスト：J.ハーバーマス『公共性の構造転換』(第2版)、未来社、1994年。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
生活情報論 (02J1017) 林廓子	I・II 前 2単位	生活科学及び人文社会科学研究に必要な情報の収集・分析の知識及び技術を習得するために、主要な研究方法の1つである社会調査法を学ぶ。基本理論に関する講義のほか、各種統計調査データの読み取りや利用等、実際の研究場面に沿って進める。テキストは講義で配布。 (備考) ◎統計学・社会統計学等
法女性論 (02J1018) 戒能民江	I・II 前 2単位	下記のテキストを読み、ジェンダーとセクシュアリティの視点から、従来の法律学理論の問題点を考察する。 Clare Cushman ed., <i>Supreme Court Decisions and Women's Rights</i> (CQ Press, Washington, D. C. 2001)
法女性論演習 (02J1019) 戒能民江	I・II 後 2単位	セクシュアル・ハラスメントおよびドメスティック・バイオレンスに関する裁判例の法女性学的研究を行う。
生活福祉論 (02J1020) 藤崎宏子	I・II 前 2単位	内外の文献を読むことにより、近年の福祉政策の動向を追いながら、個人—家族—国家のあいだの相互関係について考える。テキストは開講時に指示する。
生活福祉論演習 (02J1021) 藤崎宏子	I・II 後 2単位	高齢者介護への当事者の対処と社会的対応策につき、社会的ネットワーク論に依拠した文献を読みつつ考察する。テキストは開講時に指示する。
自然環境論演習 (02J1023) 田宮兵衛	I・II 後 2単位	参加者のテーマないしは関心を素材にあり得る自然環境との接点を、参加者の研究紹介あるいは関連論文の紹介を通じて追求する。
環境認識論 (02J1024) 杉谷隆	I・II 後 2単位	環境認知・認識についての文献をレビューする。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
環境文化論演習 (02J1027) 内田忠賢	I・II 前 2単位	フィールドワークのための予習ゼミ。7月末～8月初に行う4泊5日のフィールドワーク実習(「地理環境調査講義実習」2単位)とセットで履修して下さい。フィールドは熊本県水俣地域を予定。各自の専門テーマに沿って、文献調査・情報収集などをします。他専攻、他コースの院生を歓迎します。
地域経済論 (02J1028) 内藤博夫	I・II 後 2単位	「空間と社会」「都市と集積」「世界と歴史」に関する諸理論を欧米の研究者の業績にあたって学習する。理論の学習と平行して具体的事例についても検討したい。 教科書：矢田俊文・松原 宏編著「現代経済地理学」(ミネルヴァ書房)
地理情報論演習 (02J1031) 水野 勲	前 2単位	インターネットから入手できる地域統計を利用して、表計算ソフトのエクセルによって地域統計の分析、地図化を行う。エクセルに付属している Visual Basic による簡単なプログラミングも実習する。受講者は、統計学、地図学の知識を他の授業、自習等で補ってほしい。
(新)社会環境学 (02J1032) 栗原尚子	I 前 2単位	“Gender, Place and Culture” (A Journal of Feminist Geography) に掲載されている論文の中から、各自の関心に沿って論文を選び、輪読する。レジユメを作成し、討論を通じて内容の理解と深化を図る。
(新)地理環境学特殊講義 (02J1034)	I 後 1単位	(未定)
(新)地理環境論特殊講義 (02J1035)	I 後 1単位	(未定)

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)地理環境調査講義実習 (02J1036) 内田忠賢	I 前 2単位	フィールドワーク実習。7月末に熊本県水俣地域で実施する予定(4泊5日)。各自の専門テーマに沿って、現場で調査・研究をし、調査報告論文を作成します。フィールドワーク能力を磨き、報告書を作成することを目的とします。「環境文化論演習」(2単位)とセットで履修して下さい。他専攻、他コースの院生を歓迎します。
(新)ジェンダー基礎論 (02J1039) 館 かおる	I・II 前 2単位	ジェンダー概念の考察をテーマにした日本語及び英語の文献講読を行なう。ジェンダー概念成立過程及び現時点での論点を、文献を講読しながら考察する。
(新)ジェンダー基礎論演習 (02J1040) 館 かおる	I・II 後 2単位	ジェンダー概念の理解を深める関連文献を講読するとともに、現在の学問分野にジェンダーの視点を導入した研究文献を講読する。
ジェンダー文化論 (02J1041) 波平恵美子	I・II 前 2単位	文化人類学においては1940年代にすでに「ジェンダー」概念を導入した研究が行われ、文化的社会的要素がジェンダーの規定成立に大きく係ることを明らかにしてきた。民族誌や文化人類学の論文によってジェンダーの概念の理解を深めることを目的とした授業を行う。 (備考)資料は教官が準備し配布する。
ジェンダー文化論演習 (02J1042) 波平恵美子	I・II 後 2単位	前期の授業(ジェンダー文化論)によって理解した内容に基づいて、修士論文作成においてジェンダー概念を用いての論文作成の具体的な方法を発表してもらい、提示方法、分析方法、論述の方法について指導する。
女性政策論 (02J1045) 内藤和美	I・II 後 2単位	女性政策(性別に関する公正実現のための政策)をめぐる状況を①政策課題としてのジェンダー・イシューの主流化、②公共的意思決定と公共的価値実現のための活動における社会のさまざまなセクターの協働(公共性の多元化ないし再編成)、③政策過程における実効追求の本格化、の3点において捉え、具体的事例の検証作業を含めて考察する。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)労働経済論 (02J1048) 永瀬伸子	I・II 前 2単位	労働経済学の基本文献を読む。また非典型的雇用についての海外論文等を読み、日本と比較する。 教科書)樋口美雄・岩田正美編『パネルデータから見た現代女性—結婚・出産・就業・消費・貯蓄』 Rebecca M. Blank eds. Social Protection versus Economic Flexibility NBER 1994
(新)ジェンダー統計論演習 (02J1051) 永瀬伸子	I 後 2単位	既存統計の批判的検討を行う。また合わせて論文作成のための統計の見方、使い方、統計分析の手法を紹介する。
開発経済学 (02J1052) 足立真理子	I・II 前集中 2単位	開発経済学古典学派の人工理論、及び従来の地域経済分析の成果をふまえ、現在のラマルティラ・センなどに代表されるジェンダーと開発にかかわる経済理論の基礎を学ぶ。
(新)開発言説論 (02J1055) 石塚道子	I・II 前 1単位	第二次世界大戦後の植民地化解体と冷戦体制のもとの開発政策進行過程の連関を「第三世界」地域の人々がどのように表象したのかという視点から多様な開発言説を比較検討し、ポストコロニアリズムを考察する。
(新)開発言説論演習 (02J1056) 石塚道子	I・II 後 2単位	ポストコロニアリズムの視点からの開発言説研究文献の講読を各自の研究テーマとの関連において行い、このような立場からフィールドワークの意味についての議論を深める。
(新)開発研究実践論 (02J1057) 熊谷圭知	I・II 前 2単位	これまでの私自身のパプアニューギニア調査研究の体験と知見を提示しながら、1)地域研究とは何か、2)地域研究とフィールドワーク、3)フィールドへの関与から開発実践への道のりとその課題、について問題を提起するとともに、1)~3)のテーマに関連する文献の紹介を交えて、地域研究と開発実践の関係を考えていきたいと思ひます。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)開発研究実践論演習 (02J1058) 熊谷圭知	I・II 後 2単位	前期の授業で問題にしたテーマに関連する英語論文(World Development 誌論文など)を、受講生各自の関心に応じて取り上げ、それを素材に議論していきます。
(新)国際移動ジェンダー論 (02J1061) 伊藤るり	I 2単位	戦後の世界的開発過程のもとで進行する移動・移民過程を取り上げる。移動・移民過程はジェンダーによってどのように規定されるのか、逆に移民家族、ならびに受け入れ社会のジェンダー秩序は移動・移民によっていかに変容するのか考察・検討する。英語文献を多用の予定。
(新)国際移動ジェンダー論演習 (02J1062) 伊藤るり	I 2単位	受け入れ社会と出身社会にまたがって生活する移住者のシテイズンシップ、人権の問題をジェンダーの視点から検討する。政治的局面的みならず、広く再生産労働の問題を含めた社会・経済的局面的、そして文化的局面を検討していく。英語文献を多用する。
開発・ジェンダー論特論 (02J1063) (開発・ジェンダー論コース全教官)	I・II 前 2単位	開発・ジェンダー論コースが教育・研究の対象とする領域および方法論野全体を明らかにする。具体的には、各教官の専門分野の方法論を用いて「開発・ジェンダー論」を研究する場合の詳細なテーマの設定と分析の手法を提示し、基本的な文献を示す。 (備考)本コースの学生は必修である。
国際社会ジェンダー論 (02J1064) 石塚道子他	I 前 2単位	高齢化と介護支援に関する問題を、南アジアにおけるフィールドをもとに先進諸国との比較を視野に入れてジェンダーの視点から考察する。 (備考)集中講義の形態を採る。詳細はジェンダー研究センターに問い合わせのこと。
(新)国際社会ジェンダー論演習 (02J1065) 石塚道子他	I 後 2単位	軍事化とジェンダーの問題を、女性の政治参加におけるGOとNGOの連結に焦点をあてて考察する。 (備考)集中講義の形態を採る。詳細はジェンダー研究センターに問い合わせのこと。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)国際協力論 (02J1066) 田中由美子	I 前 2単位	1970年代後半以降、国際社会においてはジェンダーの視点から開発過程を分析し、ジェンダー平等の実現に向けた国際協力の実践が取り組まれている。こうした実践の内容、方法論などを、実務経験者の視点から具体的事例のなかで検討することとする。
発達社会科学論 (02J1068) (生活・開発科学系教官)	I・II 通 2単位	生活・開発科学系を構成する、生活政策学、地理環境学、開発・ジェンダー論の3コースそれぞれにおいて、特別研究作成の過程で生ずる共通の問題点等について明らかにする。
特別研究 (02J1069) (生活・開発科学系教官)	I・II 通 8単位	学生が選択したテーマについての修士論文の作成を目標とした研究を、教官の指導の下に行う。

ライフサイエンス専攻

(生活科学系)

ライフサイエンス専攻（生活科学系）

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
嗜好成分化学特論演習 (02K0002) 久保田 紀久枝	I 前 2単位	食品の嗜好性に関与する成分および機能性成分の化学に関する最新の文献を購読し、発表・討論を行う。
食嗜好評価学特論 (02K0003) 畑 江 敬 子	I 前集中 2単位	調理過程における諸現象と嗜好特性との関連及びこれらの文化的背景について、解説を行う。
調理科学特論演習 (02K0006) 香 西 みどり	I 後 2単位	調理における非加熱操作および加熱操作の原理や各食品の調理特性などに関する成書および論文をゼミ形式で講読し、調理科学の研究方法について論じる。
食品保存科学演習 (02K0008) 本 間 清 一	I・II 前 2単位	食品の保存方法、加工・保存中で起こる成分変化や状態変化をしらべる研究・実験手法を学会誌の報文を読み討論する。さらに食品の規格や品質表示基準の社会的役割を解説し、技術の変遷を総説を読み討論する。
食資源学特論 (02K0009) 村 田 容 常	I 前 2単位	食品の品質や加工貯蔵に関する化学、生化学の基礎とトピックを論ずる。また、企業研究の事例研究も行う。
食品機能化学特論 (02K0012) 森 光 康次郎	I・II 前集中 2単位	近年、食品成分による生体調節機能が注目され、生活習慣病をはじめとする疾病を抑制（または予防）する可能性が広く一般にも認識されるようになった。本特論では、身近となった抗酸化物質から実際に医薬品や特保特保食品に利用された研究を例説し、特に薬物代謝の基礎を詳説後、食品によるがん予防の最新研究について紹介する。 [参考書籍] ・生物科学実験法38『食品中の生体機能調節物質研究法』川岸舜朗編著、(学会出版センター) ・『新版 薬物代謝学』GG ギブソン、P スケット著、(講談社サイエンティフィック) ・『がん予防食品』大澤俊彦ら監修、(シエムシー)

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
資源微生物学特論 (02K0013) 富永典子	I 前集中 2単位	地球上の生物は微生物なしでは生きてゆけない。微生物の自然界で果たす役割について基礎的に追求し、また動植物の培養細胞との類似点、相違点についても述べる。さらに微生物の能力を食品分野だけでなく一般の生活において応用した例及びその可能性についても論ずる。
栄養生化学特論演習 (02K0017) 脊山洋右	I 前 2単位	栄養を生化学的視点から理解するために、体内の代謝に関する論文を読み、その内容を理解した上で紹介して、自らの研究の支えとする。
代謝制御学特論 (02K0018) 藤原葉子	I 後集中 2単位	生体内の代謝制御について、特に脂質代謝を中心とする酵素や細胞内転送蛋白質などの代謝関連蛋白質による制御機構を概説する。さらにこれらの蛋白質発現の遺伝子レベルでの調節と食品中の栄養素や微量成分との関係について論ずる。
生体防御学特論 (02K0020) 近藤和雄	I・II 後集中 2単位	(未定)
生化学特論 (02K0023) 大塚譲	I・II 前 2単位	生化学、分子生物学の基礎的な事項を学び、遺伝子操作法についても理解する。又遺伝情報の利用の仕方についても説明する。
臨床栄養学特論 (02K0026) 小松龍史	I 前集中 2単位	人間生活や臨床における基礎及び実践栄養学について論じる。
臨床栄養学特論演習 (02K0027) 金子佳代子	I 前集中 2単位	エネルギー代謝および体組成に関する講義・実習を通して、栄養評価法について理解を深める。 1. 消費エネルギー：テレメトリー式酸素消費量測定装置(K2)、簡易消費エネルギー計 2. 体組成：水中体重法、DXA法、BI法

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)衛生工学特論 (02K0028) 大瀧雅寛 (衣生活環境学特論 2単位 (02K0928)	I・II 前 2単位	安全で快適な水環境システムの工学的な構築を最も効果的に行うためには外部環境が人間に与える様々な影響に関して工学的に評価する必要がある。本講義ではその評価手法について教育研究を行う。
生活空間設計論 (02K0031) 田中辰明	I・II 前 2単位	居住空間、給水設備、給湯設備、排水設備、暖房設備、空気調和設備、換気設備の設計法について学ぶ。建築の省エネルギーの大切さについて、省エネルギー建築、代替エネルギー利用建築について学ぶ。
人間生活物理学特論 (02K0032) 會川義寛	I・II 前 2単位	物理学の観点から見た解剖学と生理学を学ぶ。 教科書：河野邦雄・伊藤隆造・堺章『解剖学』医歯薬出版
人間工学特論 (02K0034) 太田裕治	I・II 後 2単位	高齢者、障害者、乳幼児等に対する具体的な工学的支援課題を例に、人間の機能の計測・解析、機器の評価などについて輪講形式で議論する。
人間生活工学演習 (02K0035) (人間生活工学コース教官)	I 後 2単位	人間が生活していく際に生じる問題を工学の視点から取り扱う方法、ならびにその研究成果を英文論文として発表する方法を演習形式で学ぶ。
生活高分子材料学特論 (02K0037) 小川昭二郎	I・II 後 2単位	我々の生活の中で高分子材料は益々増え続けている。この10年間でその性能は格段に向上しており、また、分離膜等の機能性高分子材料も生活の中に取り入れられている。最近の高性能、高機能高分子材料の動向を論ずると共に、生活材料としての問題点を探る。
生活材料物性特論 (02K0038) 仲西正	I・II 後 2単位	生活材料について、物理化学的視点から、材料の機能発現メカニズム、特に、機能と構造、機能と様々な相互作用などに関して考察する。分離機能性高分子、ゲル、高分子電解質、分子認識などの問題を取り扱う。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
応用界面科学特論 (02K0041) 駒城素子	I・II 前 2単位	生活の様々な面で生ずる現象のもとになっている界面の科学について、基礎的問題をとりあげ、その評価、解析法とともに、汚れの吸付着と脱落の機構の解析や、繊維加工への応用に展開する。
環境心理学特論 (02K0043) 藤井晴行	I・II 後 2単位	(未定)
(新)建築環境工学 (02K0044) 奥山博康	II 後 2単位	建築と人間を取り巻く音、熱、光、水、湿気に関する問題を数理的に解決すべく講師の開発したコンピュータプログラムを公開し、演習を実施しつつ授業を展開する。
環境生活工学演習 (02K0045) (環境生活工学コース教官)	I 前 2単位	環境のもとで生活していく際に生じる問題を工学の観点から取り扱う方法、ならびにその研究成果を英文論文として発表する方法を演習形式で学ぶ。
比較行動学特論 (02K0048) 柴坂寿子	I 後 2単位	自然な生活の場における人間行動の観察研究方法について、文献購読とビデオ資料による討論を行う。 教科書：佐藤郁哉『フィールドワーク』(新曜社) 中澤潤他『観察法』(北大路書房)
人類進化学特論演習 (02K0051) 松浦秀治	I・II 後 2単位	人類の起源と進化、日本人の起源と形成などに関する内外の論文、特に化石資料の編年を扱った英文文献を中心にゼミ形式で購読し、関連する様々な仮説の年代学の問題点を討議する。
健康医学特論 (02K0052) 森田寛	I 後 2単位	健康とは肉体的、精神的および社会的に完全に良好な状態にあることである。生活習慣病は環境因子と遺伝因子が発症に関与している多因子性疾患である。本特論では生活習慣病に焦点をあてて健康保持における予防医学の重要性について論じる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
生体制御学特論 (02K0053) 鈴木恵美子	I 後 2単位	生体は外部の環境変化に適応して体内の恒常性を維持するための調節機構を備えている。この生体調節機構の概要について微量生体成分との関連も含めて論じる。
身体構造学特論 (02K0055) 溝口優司	I 前集中 2単位	ヒトの身体構造も他の生物のそれと同様、環境への適応的進化によって形成されてきたものと考えられているが、それがどのように形成されてきたのかを、頭蓋や歯の統計学的分析を通じて得られた知見を中心に論ずる。 参考書：溝口優司著「頭蓋の形態異変」(勉誠出版)
生物人間科学演習 (02K0056) (生物人間科学コース教官)	I・II 前 2単位	人間の生物学的側面に関する専門文献を読み、内容について討議を行う。
ライフサイエンス論 (02K0057) (ライフサイエンス専攻教官) ※生活科学系用	2単位	生活科学系と生命科学系の2系から構成されている本専攻において、その両系の特徴を理解し専攻の全体像を把握する目的で設定された。各自がその研究の位置づけ、意義を見だし、ひいては修士論文を含むさらなる研究の発展に役立つことを期待する。複数教官が担当。
特別研究 (02K0058) (生活科学系教官)	I・II 通年 10単位	各指導教官の下で、各人のテーマに基づいた修士論文の作成を目標として研究を行なう。

ライフサイエンス専攻 (生命科学系)

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
糖鎖分子生物学 (02K1001) 松本 勲 武	I・II 2単位	動物レクチン・植物レクチンの構造と機能について解説する。
生物化学特論 (02K1002) 相川 京子	I・II 前 2単位	生化学・分子生物学的アプローチから解析された、生命体の成り立ちや維持に必要なしくみを取り上げて解説する。
生物化学特論演習 (02K1003) 松本 勲 武	I・II 2単位	生物化学の最新の論文を読んで知見を広めるとともに、論文の書き方、発表の仕方などについて学ぶ。
分子生物化学特論 (02K1004) 小川 温子	I・II 後 2単位	遺伝子からタンパク質までの基本的な情報の流れに対し、翻訳後の修飾は分子に多様性と様々な調節機能を与える。これによって高度な生物機能が達成されることを解説する。
糖質科学 (02K1005) 小川 温子	I・II 前 2単位	糖質は、核酸、タンパク質に次いで、生命の第3の鎖と言われる。糖質の機能と構造研究の歴史を概説し、構造との相関、糖質研究手法と糖質工学の発展を解説する。
糖質科学演習 (02K1006) 小川 温子	I・II 前 2単位	複合糖質の単離、構造、相互作用、分布、機能およびこれらの解析方法に関する最近の重要な学術論文を紹介する。関連分野の総説講読も含む。
植物分子生物学 (02K1007) 芦原 坦	I・II 後 2単位	最近、植物の様々な生理現象が生化学レベル、遺伝子レベルで明らかにされつつある。ここでは、これらの新しい学問を理解するのに不可欠な生化学や分子生物学の基礎と植物に特有な研究について概説する。
代謝生化学特論 (02K1008) 芦原 坦	I・II 前 2単位	代謝の調節機構について概説し、さらに、各論としてエネルギー代謝と窒素代謝を取り上げ、最新の代謝制御理論とその問題点について述べる。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
代謝生化学特論演習 (02K1009) 芦原 坦	I・II 前 2単位	高等植物の代謝に関する最新の論文を読んで知見を広めるとともに、論文の書き方、発表の仕方などについても指導する。
(新)分子細胞生物学 (02K1010) 山本直樹	I・II 前 2単位	分化全能性を示す植物細胞は、細胞を取り囲むさまざまな環境要因に応答しつつ分化・成長を遂げる。これらの過程でみられるシグナル伝達の分子メカニズムを分子細胞生物学的な視点から論ずる。
(新)分子細胞生物学演習 (02K1011) 山本直樹	I・II 後 2単位	植物の光環境応答機構の分子細胞生物学研究に関する論文や総説を講読し、研究の進め方や論文のまとめ方を修得する。
植物代謝生物学演習 2単位 (02K1911)		
分子細胞生物学特論 (02K1012) 林 正 男	I・II 前 2単位	細胞接着分子ピトロネクチンとインテグリンに関する最先端の英文原著論文を読み、発表、討論する。このことでピトロネクチンとインテグリンの最先端の研究動向を深く理解する。この分野の専門テーマで研究するレベルの知識と洞察が必要である。
細胞生物学特論 (02K1013) 林 正 男	I・II 後 2単位	細胞接着分子に関する最先端の英文原著論文を読み、発表、討論する。このことで細胞接着分子の最先端の研究動向を深く理解する。
細胞生物学特論演習 (02K1014) 林 正 男	I・II 後 2単位	細胞接着分子に関する最先端の英文原著論文を読み、発表、討論する。このことで細胞接着分子の最先端の研究動向を深く理解する。この分野の専門テーマで研究するレベルの知識と洞察が必要である。
細胞情報特論 (02K1015) 室 伏 きみ子	I・II 後集中 2単位	細胞がその内外の情報を受容し、伝達・増幅して、種々の応答を示すことが明らかになってきている。本特論では、情報(シグナル)伝達の仕組みを理解し、さらには、仕組みを解明するための方法を学ぶ。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
細胞生化学特論 (02K1016) 室 伏 きみ子	I・II 前集中 2単位	生命現象の基本単位である細胞について、その構造と機能を分子レベルで解析する手段を学ぶ。さらに、各種の反応や物質が、どの様に組織され、統合されて、生命活動が営まれているかについて考察する。
細胞生化学特論演習 (02K1017) 室 伏 きみ子	I・II 前 2単位	細胞生化学特論の講義内容に述べた事柄について、さらなる理解と発展のために、最近の論文の購読を行う。並行して、自ら論文を作成するための訓練を行う。
分子遺伝学特論 (02K1018) 松 浦 悦 子	I・II 後 2単位	真核生物を主とした遺伝情報の発現やその制御機構について、各自が決めたテーマにそって広く文献を講読し、遺伝学がこれからの生命科学の分野において担うべき役割について考察する。
オルガネラ遺伝学 (02K1019) 松 浦 悦 子	I・II 前 2単位	ミトコンドリアや葉緑体の遺伝情報の維持と次世代への伝達の機構について学ぶ。オルガネラDNAの複製、遺伝子発現の機構、核ゲノムとの相互作用、進化、などの観点から幅広く考察する。
オルガネラ遺伝学演習 (02K1020) 松 浦 悦 子	I・II 前 2単位	ミトコンドリアや葉緑体のゲノム構造、機能、進化などに関する研究論文を講読する。最新の研究の動向に対する理解を深め、各自の研究テーマと関連させながら、今後の研究について議論する。
生体膜代謝論 (02K1022) 小 林 哲 幸	I・II 前 2単位	生体膜を形成する脂質の構造と機能について概説し、膜脂質の代謝及びその結果として産生される脂質生メディエーターについての最新の知見について考察する。
生体膜代謝論演習 (02K1023) 小 林 哲 幸	I・II 後 2単位	細胞における様々な情報伝達系において、生体膜を形成する脂質はたいへん重要な役割を演じていることが近年明らかとなってきた。本演習では、その機能脂質の代謝や動態に関する最新の論文や総説の輪読を行い、研究課題を解決するための実践力を養う。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
分子進化学 (02K1024) 松浦悦子 服田昌之	I・II 後集中 2単位	生物進化を生体分子と生物個体との相互依存関係の側面から捉え、多様な事例と共に進化についての考察を深める。また先駆的研究を紹介し、独創性について考える。
細胞運動特論 (02K1028) 馬場昭次	I・II 前 2単位	細胞運動に関する原書 ^{1),2)} をテキストとして、講義する。受講者は、あらかじめテキストに目を通しておくことが望ましい。 1)“Cells, Gels and the Engines of Life” Gerald H. Pollack (著) 2)“Cell Movements: From Molecules to Motility” Dennis Bray (著)
細胞運動特論演習 (02K1029) 馬場昭次	I・II 前 2単位	細胞運動の研究に関する論文を最新のデータベース(Reference Update)から検索し、表題及びキーワードから選び出した論文の要約からさらに精選したものについて輪読する。
植物系統進化学 (02K1030) 山下貴司	I・II 前 2単位	1) 分類体系：先人が積み上げてきた系統分類体系を紹介し、その基礎となっている比較形態、比較発生を論ずる。 2) 古植物学：急速に進歩している植物化石の研究を紹介し、地質時代における植物進化の解明を論ずる。 3) 種分化：自然界における植物集団の交雑、適応、隔離について、生態学および集団遺伝学的研究を紹介する。
植物発生学 (02K1031) 山下貴司	I・II 後 2単位	1) 生殖・生活史：藻類、菌類、蘇苔類、羊歯類、裸子植物、被子植物について、生殖器官の構造と発達、生活史と世代交代を論ずる。 2) 個体発生：羊歯類、裸子植物、被子植物について、胚発生、頂端分裂組織(成長点)、根、茎、葉など器官の形態形成、組織発生を論ずる。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
植物発生学演習 (02K1032) 山下貴司	I・II 後 2単位	植物の生殖、生活史、胚発生、形態形成、組織発生に関する基礎的な外国文献の購読。 (備考)ドイツ語またはフランス語の初歩が必要。
分子発生学 (02K1033) 千葉和義	I・II 前 2単位	発生を制御している分子機構を、以下の教科書を用いて理解する。出席者は、教科書を持参すること。 教科書：Developmental Biology, sixth edition. 著者：Scott F. Gilbert 出版：Sinauer Associates, Inc.
分子発生学演習 (02K1034) 千葉和義	I・II 後 2単位	分子発生学で取り上げたトピックスについて、最新の研究状況を理解するために、当該分野の国際誌から原著論文を選び、その内容について理解する。受講者には、内容の説明だけでなく批判的な考察を求める。
発生生物学 (02K1035) 根本心一	I・II 前 2単位	細胞周期、細胞質内決定因子やクローン動物などを取り上げ、動物の発生過程における、細胞の分化と形態形成を制御する仕組みについて解説する。
発生生物学演習 (02K1036) 根本心一	I・II 後 2単位	発生生物学に関するトピックスを幅広く取り扱う。特に卵成熟分裂・卵割の分裂極となる中心体や細胞周期の確立に関する核と細胞質の相互作用に重点を置く。今後の発生生物学の研究を切り拓く創造力の養成に努める。
(新)進化発生学 (02K1037) 服田昌之	I 後 2単位	これまで動物の種類ごとに個別に記載されてきた発生様式と機構を比較し、進化の軸をとおすことで形態形成の原理を抽出し、多様な動物の発生を統一的に理解する視点を展開する。
(新)進化発生学演習 (02K1038) 服田昌之	I 全集中 2単位	進化発生学の最新の論文を詳読して発表する。研究の動向や問題解決となったキーポイントを把握することで、各自の研究の展開に役立てる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
宇宙生物学特論 (02K1039) 最上善広	I・II 後 2単位	地球上の生命活動を、宇宙という全く異質な環境で展開することによって生ずる諸問題を取り上げ、地球固有の環境(重力、放射線、概日リズム等)と生命活動との関連を論ずる。
細胞生理学特論演習 (02K1041) 最上善広	I・II 後 2単位	生物時間や生体リズムの発生、及びそれらの維持機構、細胞内の運動特性、さらにそれらに関連する細胞内生理活性の外界応答を取り扱った論文や関連分野の文献の広範なレビューを行う。
形質発現植物生理学 (02K1042) 作田正明	I・II 後 2単位	高等植物の形質の発現機構を代謝レベルより解説する。特に、古くより植物の代表的な形質として、遺伝学等において指標とされてきた花色に注目し、その発現機構を生化学、分子生物学的側面から解説する。
植物環境応答学 (02K1043) 作田正明	I・II 前 2単位	動くことができない植物は、周囲の環境に対する独特の応答機構を有し、これには種々の自己防御のための機構も含まれる。この中から傷害、病原菌感染に対する応答を取り上げ、これらについて分子レベルより解説する。
植物環境応答学演習 (02K1044) 作田正明	I・II 後 2単位	植物の傷害、病原菌感染等に対する応答機構に関する論文を読み、その内容についてゼミ形式で討論する。
植物相関生理学 (02K1045) 加藤美砂子	I・II 前 2単位	海産微細藻類と環境の相互関係を考える。さらに、共生、アレロパシーなどを取り上げ、植物と他の生物との関係を植物生理学の視点から解説する。
植物相関生理学演習 (02K1046) 加藤美砂子	I・II 後集中 2単位	海産微細藻類の環境応答に関する論文を購読する。研究手法の問題点に関しても討論を行う。
海洋生物学特論 (02K1049) 清本正人	I・II 後 2単位	生命の誕生した海には、現存する生物のほとんどの門に含まれる動植物が棲息している。海産生物の、特に生殖や発生について概説し、さらに発生のしくみの進化や系統発生との関係について考察する。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
形態発現特論 (02K1050) 清本正人	I・II 前 2単位	個体発生の受精卵より生じる細胞集団の中で、各組織が分化し、生物の形態が作り上げられていく過程について、デターミナント、誘導、形態形成運動などの発生現象が、生体分子によってどこまで明らかにされているのかについて論ずる。
形態発現特論演習 (02K1051) 清本正人	I・II 前 2単位	受精卵から始まる胚発生における形態形成という発生現象の理解に重要な文献や、最新の論文から興味深いものを選んで論文講読と討論を行う。
(新)公開臨海実習 (02K1052) 清本正人	I・II 前集中 2単位	単位互換制度に基づき、他大学の学生も対象にした実習で、理学部附属館山臨海実験所で行う。進化における発生機構の変化、進化における遺伝子の変化、遺伝的連続性の維持に重要な中心体の機能、のそれぞれについて講義と実習を行う。
(新)生命科学特論(生化学) (02K1055) 松本勲武	I・II 2単位	生物の体を構成する種々の生体分子の構造と機能発現の機構について、最新の知見を紹介する。
(新)生命科学特論(糖質科学) (02K1056) 小川温子	I・II 2単位	糖質または複合糖質、ならびにそれらに関連する認識分子など種々の生体分子について、さまざまな視点から解説する。
(新)生命科学特論(分子遺伝学) (02K1058) 松浦悦子	I・II 2単位	未定
(新)生命科学特論(細胞生物学) (02K1059) 室伏きみ子	I・II 2単位	細胞生物学におけるトピックスを取り上げ、その解説と問題解決のための討論を行う。
(新)生命科学特論(分子細胞生物学) (02K1060) 山本直樹	I・II 2単位	ゲノム生物学の成果を交えながら、分子細胞生物学の最新の知見を紹介する。

※(新)科目は、平成14年度新設科目及び名称変更の科目です。新1年生以外は(旧)科目での単位取得か聴講のみが可能で、単位取得はできません。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
(新)生命科学特論(発生生物学) (02K1061) 馬場昭次	I・II 2単位	発生生物学の基礎の上に、動物の受精・初期発生について、海産無脊椎動物を中心に、最近の研究を批判的に紹介する。
(新)生命科学特論(代謝生物学) (02K1062) 芦原坦	I・II 2単位	代謝および代謝制御に関する研究について、最近の知見をふくめ解説する。
(新)生命科学特論(動物生理学) (02K1063) 最上善広	I・II 2単位	動物における生理機能調節機構を取り上げ、生命活動の多方面にわたる調和維持の機構を概説する。
(新)生命科学特論(分子進化学) (02K1065) 根本心一	I・II 2単位	体制の複雑化・高次化に伴う、細胞活動の制御機構の進化過程を、分子レベルに焦点を絞って解説する。
(新)生命科学特論(系統進化学) (02K1066) 山下貴司	I・II 2単位	先人が積み上げてきた系統分類体系を基礎として、各分野で研究された系統、進化に関する最新の知見を加える。
生命科学演習 (02K1067) (生命科学系教官)	I・II 通 4単位	年間に数回程度、各自の研究に関する中間報告を行うことによって、互いの研究に対する理解を深めると共に、研究成果のまとめ方と発表の仕方を習得する。
ライフサイエンス論 (02K1068) ライフサイエンス専攻教官 ※生命科学系用	I・II 前 2単位	生活科学系と生命科学系の2系から構成されている本専攻において、その両系の特徴を理解し専攻の全体像を把握する目的で設定された。各自がその研究の位置づけ、意義を見だし、ひいては修士論文を含むさらなる研究の発展に役立つことを期待する。複数教官が担当。
特別研究 (02K1069) (生命科学系教官)	I・II 通 10単位	各指導教官のもとで、各人のテーマに基づいた修士論文の作成を目標とした研究を行う。

物質科学専攻

物質科学専攻

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
磁性体特論 (02L0001) 古川はづき	I・II 後集中 2単位	磁性全般に関する基本的な事柄について学び、強相関電子系で問題となる電荷-スピン-軌道秩序が織りなす複合物性について考察する。
磁性体特論演習 (02L0002) 古川はづき	I・II 前 2単位	平成14年度は強相関電子系の諸問題について論文等の講読を行う。
固体物理学特論 (02L0005) 富永靖徳	I・II 前 2単位	物理学に現れる対称性を系統的に理解するためには、群の表現論が有効である。この群の表現論の入門として、有限群の表現とその応用を概説する。入門では具体例をあげながら、基礎的な概念を学ぶ。応用では、結晶点群や分子振動と基準座標等を取り上げて概説する。
固体物理学特論演習 (02L0006) 富永靖徳	I・II 前 2単位	外国文献の講読・紹介と討論をゼミ形式で行う。
非平衡物理特論演習 (02L0008) 奥村剛	I・II 前 2単位	非線形溶液分光理論やソフトマター周辺の論文等の講読、討論をゼミ形式で行う。
相転移特論 (02L0009) 今井正幸	I・II 前集中 2単位	ソフトマターが示す様々な相転移現象、特に、界面活性剤-水系の秩序-秩序転移、コロイド粒子系の枯渇相相互作用、複合膜系のモルフォロジー転移等に焦点を当てて解説する。
溶液化学演習 (02L0014) 益田祐一	I・II 前 2単位	溶液、液体に関わる論文、レビューのコロキウム、輪読。
凝縮系分光 (02L0015) 益田祐一	I・II 後集中 2単位	磁気共鳴をはじめとする種々の分光法の溶液の諸問題に対する応用。(初歩的原理、適用例などを含む。)

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
揺動現象特論 (02L0016) 柴田文明	I・II 後集中 2単位	物理現象の中で、揺動が主要な働きを示す幾つかの問題を扱う。相転移、非平衡系のダイナミクスがこの例にあたる。レーザーの発振作用、化学反応のモデル等にふれる。
散逸系のダイナミクス (02L0017) 奥村剛	I・II 前集中 2単位	表面張力やソフトマター周辺からトピックスを選び、基礎や背景から出発して、最新の話題までを解説していく。
分子集合体物性論 (02L0018) 福田豊	I・II 後集中 2単位	(未定)
分子集合体物性論演習 (02L0019)	I・II 集中 2単位	(未定)
反応化学特論 (02L0020) 武次徹也	I・II 前集中 2単位	分子科学の基礎である Born-Oppenheimer 近似の意義を解説し、ポテンシャルエネルギー曲面・反応経路の概念を導入した後、最近の反応経路力学の研究を紹介する。
計算化学特論演習 (02L0022) 武次徹也 鷹野景子	I・II 後 2単位	分子軌道法の基礎を身につけることを目的とした輪読を行う。演習問題を実際に解くことにより理解を深める。 教科書：「新しい量子化学 上」ザボ・オストランド (東京大学出版会)
無機化学特論 (02L0023)	2単位	無機化学のトピックス、新規無機化合物の構造、物性、反応等について概説する。
錯体構造化学 (02L0024)	2単位	無機化学に関する内外の論文の講読、紹介、研究討論を行う。
錯体構造化学演習 (02L0025) 福田豊	I・II 前 2単位	(未定)

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
天然物有機化学 (02L0026) 永野肇	I・II 前 2単位	植物、動物、微生物等により生体内で合成される低分子有機化合物であるテルペン、ステロイド、脂肪酸関連化合物、ポリケチド、ポリフェノール等の単離・構造決定、合成、生合成、生物活性等について解説する。
有機反応化学演習 (02L0028) 永野肇	I・II 前 2単位	新着雑誌の中から有機化学反応に関連した注目すべき論文を講読し、討論をおこなう。この演習を通して最新の有機化学反応を理解すると共に、自身の研究の進め方についても習得する。
蛋白質結晶学 (02L0029) 今野美智子	I・II 前 2単位	蛋白質が結晶化する過程と重原子が分子の表面に配位する過程について解説する。X線の散乱と干渉を利用する回折の原理および結晶構造解析法の原理と手法について述べ、得られる構造の意味することとその限界について解説する。
構造化学特論演習 (02L0031) 今野美智子	I・II 後 2単位	低分子の構造あるいは蛋白質の構造、リガンドと蛋白質の複合体の構造に関する文献を輪読し、これらの構造に基づき分子間相互作用について討論する。
分子凝集機構論 (02L0032) 堀佳也子	I・II 前 2単位	有機分子はどのような力でどのようにして凝集して結晶を構成するのか。以下の総説の輪講と講義をとりまぜて行う。The Crystal Packing of Organic Molecules: Challenge and Fascination Below 1000Da. By A. Gav-Ezzoti 資料は配付する。
物性物理化学特論演習 (02L0034) 堀佳也子	I・II 後 2単位	物資の構造-物性相関に関する文献の紹介とこれにもとづく討論。参加学生自身の研究内容を含む。
理論化学特論 (02L0036) 鷹野景子	I・II 後 2単位	非経験的分子軌道法の出発点ともいべきハートリー-フォック法を概観した後、電子相関を含む理論の特徴・長所・問題点などについて学ぶ。さらに、最近の研究動向や研究例を紹介する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
理論化学特論演習 (02L0037) 鷹野景子 武次徹也	I・II 前 2単位	非経験的分子軌道法の基礎的内容。学術雑誌掲載論文の内容が把握できるよう、計算方法や基底関数系などを記述する専門用語について解説しつつ、簡単な分子についての計算機実習を通して、分子軌道法の実際を学ぶ。実験系学生も歓迎する。原子・分子の電子構造に関する基礎的講義あるいは量子力学の講義を履修していることを前提とする。 参考書：堀憲次、山崎鈴子「計算化学実験」(丸善株式会社)
有機機器分析 (02L0039) 山田真二	I・II 前 2単位	一次元および二次元 NMR の種々の測定法と、それらから得られる情報について有機分子の構造決定を例に挙げて解説する。質量分析、ガスおよび液体クロマトグラフィーなどの分析方法と、有機分子への利用についても解説する。
有機機器分析演習 (02L0040) 山田真二	I・II 後 2単位	新着雑誌の中から有機化合物の合成と構造決定に関係した論文を紹介し、その内容について討論することで、複雑な有機分子の立体構造の決定法、および有機分子の動的な過程を理解する。
分析化学特論 (02L0042) 森義仁	I・II 前 2単位	現代の分析化学のトピックスを選択して講義する。分析化学の領域が広いことを考慮し、単なる技術情報としてではなく、分析化学の体系を重視して述べる。
分析化学特論演習 (02L0043) 森義仁	I・II 後 2単位	分析化学に関する最近の国内外の文献を講読する。やや研究課題に近い分野の原著論文などを適宜選択して、演習する。
レーザー分光学特論 (02L0044) 岩田末廣 石井啓策	I・II 集中 2単位	星間分子雲における [HNC] / [HCN] 異常存在比の謎を解く鍵である HCNH+イオンと電子との解離性再結合反応の分岐比の理論的解明について講義する。この課題に対する武器の両輪となる分子軌道法と量子波束法について概観し、具体的応用について解説する。

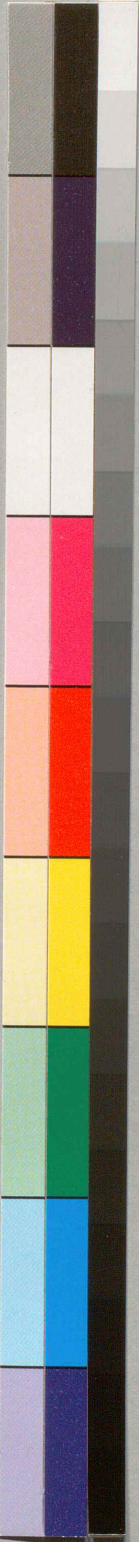
科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
レーザー分光学特論 (02L0044) 岩田末廣	I・II 前集中 2単位	この十年の間に、レーザー分子分光の研究には、第1原理に基づく量子化学計算との共同作業が重要になった。特に、分子線とレーザー分光を組み合わせた研究である分子クラスターの実験研究の解析には、量子化学計算が必須となっている。講師は、このようになる過程に自ら参加もし、また多くの国際会議においてその経過を目撃してきた。この短時間の講義では、大学院修士課程を対象に、講師に身近な具体例を基にして、話を進める。また、この研究の過程で長年の理論的問題であった課題「基底関数欠損誤差 BSSE」を克服する方法との「闘い」についても論ずる。 出席と、簡単な問題に対する電子メールでの解答によって、成績をつける。 予定としては、4月はじめには、webサイト a) に、講義の概論と、講義の前に復習しておいて欲しい事項を掲載する。 参考 web サイト： a) http://hera.ims.ac.jp/ b) http://svrrd2.niad.ac.jp/faculty/iwata/index.htm
統計力学特論 (02L0048) 村尾美緒	I・II 前集中 2単位	エンタングルメント(量子相関)は、量子情報処理(例：量子計算・量子暗号・量子通信等)の重要なリソース(資源)であると考えられている。まだ未解明な点も多いエンタングルメントの様々な性質と量子情報処理への応用を、基礎から最先端の研究成果まで解説する。
量子物理学特論演習 (02L0050) 柴田文明	I・II 前 2単位	量子物理学講義の基礎となる文献の購読を行う。BCS の原論文、巨視的トンネル効果の論文等をテキストとする。
場の理論特論 (02L0052) 菅本晶夫	I・II 後 2単位	場の理論の基礎を概説する。場の正準量子化と経路積分による量子化から始めて、散乱振幅のファインマン則による計算方法、ゲージ理論と素粒子の標準模型、くりこみ群方程式等。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
場の理論特論演習 (02L0053) 菅本晶夫	I・II 後 2単位	場の理論特論で学んだことを各種の素粒子反応に適用して計算技術を習得させる。主に、電子陽電子散乱断面積の計算および量子色力学・繰り込み群の計算を行う。
極限物性学特論 (02L0054) 浜谷望	I・II 前 2単位	超高压力さらに高温あるいは低温の極端条件下におかれた物質の物理的・化学的性質の研究方法を述べ、過去の主要な発見を解説する。さらに最近のトピックスについて原著論文をもとにして紹介する。
放射光科学特論演習 (02L0056) 浜谷望 今井正幸	I・II 後 2単位	物理、化学、工学などの広汎な分野における放射光を利用した最先端研究の文献を購読し、議論をとおして基礎から応用に及ぶ放射光の有用性を学習する。
天体物理学特論 (02L0058) 森川雅博	I・II 前集中 2単位	天体物理学の各トピックスに関してセミナー形式で議論します。
天体物理学特論演習 (02L0059) 森川雅博	I・II 後 2単位	宇宙物理学の各トピックスに関してセミナー形式で議論します。
非線形物理学特論 (02L0061) 出口哲生	I・II 前集中 2単位	場の量子論の凝縮系物理への応用を解説する。正準形式、経路積分、ワード関係式などの基本からはじめ、フェルミ流体、ボース凝縮、超伝導など量子多体問題一般を議論する。繰り込み群、さらには近藤問題、量子スピン鎖、ハバード模型へのCFTの応用も述べる。 参考書：M.Stone, The Physics of Quantum Fields (Springer, 2000)
非線形物理学特論演習 (02L0062) 出口哲生	I・II 後 2単位	非線形物理学分野に関する原著論文や原書を中心に討議演習を積み重ね、研究成果を深く理解し追体験する。研究分野は凝縮系物理学一般であり、具体的には、高分子物理学、統計物理学そして数理物理学などである。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
物性物理学特論 (02L0064) 小林功佳	I・II 前 2単位	物性物理学の最近の話題を解説する。主に、原子スケール・ナノスケールのマイクロな系からやや大きなスケールのメソスコピック系での特徴的な物性について論じる。
物性物理学特論演習 (02L0065) 小林功佳	I・II 後 2単位	物性物理学特論の講義を踏まえて、それに関連した最近の具体的な問題に取り組むために、本・学術雑誌等の文献の輪講・討論を行い、研究課題を解決するための能力を養う。
初期宇宙論 (02L0067) 松原隆彦	I・II 後集中 2単位	一般的なゆらぎの重力不安定性の話からはじめて、大規模構造の観測への応用の話、統計やバイアスの話や、そのときのホットトピックなどを準備したいと思います。
ゲージ場の理論 (02L0069) 川崎雅裕	I・II 前集中 2単位	現代宇宙論の新たなパラダイムとなっているインフレーション宇宙モデルについてその理論的基礎と観測的予言について説明する。さらに、インフレーション宇宙における物質・反物質非対称性の起源に関して最近の話題を中心に解説する予定である。
現象論的素粒子論 (02L0070) 曹基哲	I・II 前 2単位	相対論的場の理論に基づき、素粒子物理の現象論的側面について解説する。特に高エネルギー加速器実験における、素粒子の生成・崩壊過程について述べる。
核物性特論 (02L0072) 外館良衛	I・II 前集中 2単位	中性子線を用いた固体中の原子や原子スピンのマイクロなダイナミクスの観測を中心として、その基礎と実際の応用について述べる。またミューオンや γ 線などのプローブを用いたスピンドイナミクスの観測についても概説する。
特別研究 (02L0074) (物質科学専攻教官)	I・II 通年 14単位	各教官の指導の下に、各人の研究テーマの修士論文の作成を目標とした研究を行う。

科目名	単位数	履修条件	担当教員	備考
量子力学Ⅰ	2	物理学Ⅰ	小林 浩	
量子力学Ⅱ	2	物理学Ⅱ	小林 浩	
量子力学Ⅲ	2	物理学Ⅲ	小林 浩	
量子力学Ⅳ	2	物理学Ⅳ	小林 浩	
量子力学Ⅴ	2	物理学Ⅴ	小林 浩	
量子力学Ⅵ	2	物理学Ⅵ	小林 浩	
量子力学Ⅶ	2	物理学Ⅶ	小林 浩	
量子力学Ⅷ	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧA	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧB	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧC	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧD	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧE	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧF	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧG	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧH	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧI	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧJ	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧK	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧL	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧM	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧN	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧO	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧP	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧQ	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧR	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧS	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧT	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧU	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧV	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧW	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧX	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧY	2	物理学Ⅷ	小林 浩	
量子力学ⅧZ	2	物理学Ⅷ	小林 浩	

数理・情報科学専攻



数理・情報科学専攻

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
計算物理学特論 (02M0002) 佐藤浩史	I・II 後 2単位	分子の電子状態を理解するために必要な量子力学の基礎知識、コンピュータを用いて計算する際に必要な数値計算法および計算結果の可視化について講義する。
計算物理学特論演習 (02M0003) 佐藤浩史	I・II 後 2単位	原子・分子の電子状態をコンピュータを用いて計算するプログラムを開発する。そのプログラムを用いて実際に計算を行い計算結果の可視化を考える。
数値流体力学特論 (02M0005) 河村哲也	I・II 前 2単位	流体力学の諸問題を数値的方法で計算機を用いて解析する数値流体力学について、その原理及び応用法に関し、環境科学への適用を念頭におき講述する。
数値流体力学特論演習 (02M0006) 河村哲也	I・II 前 2単位	線形偏微分方程式の近似解法、格子形成法、非圧縮性流れの数値解析法、圧縮性流れの数値解析法の中からトピックスをいくつか選び、実際にプログラムを組んで解析を行うことを目標に演習を行う。
計算機言語特論 (02M0007) 浅井健一	I・II 前 2単位	本講義では、プログラミング言語の理論的基礎を与えているλ計算について学習する。
データベースシステム特論 (02M0010) 増永良文	I・II 前 2単位	オブジェクト指向データベースシステムとマルチメディアデータベースシステムの理論と実践を講義する。
ビジュアルコンピューティング特論 (02M0012) 高橋成雄	I・II 前 2単位	計算機における3次元形状の表現法について講義する。まず、CSG・境界表現法から、自由曲面、ポリゴン曲面(細分割曲面を含む)への3次元形状表現の変遷を詳述する。さらに、ポリゴン曲面の詳細度制御、変形処理等の最新の話題にもふれる。C++による演習を含む。
ビジュアルコンピューティング特論演習 (02M0013) 藤代一成	I・II 前 2単位	ビジュアルコンピューティング分野の具体的なテーマを選び、関連する文献調査等に基づいて独自の分類学を構成し、今後の研究開発動向を予測する演習を行う。結果のプレゼンテーションおよび受講者同士の討論も重視する。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
コンピュータアーキテクチャ特論 (02M0015) 清木 康	I・II 後 2単位	並列処理および分散処理を実現するコンピュータシステムのアーキテクチャおよびソフトウェア構成法について述べる。また、インターネット上でのマルチメディア・WWWサーバの構築方法を示す。並列、分散型データベース・システム、マルチメディアシステムのソフトウェアの設計方法を解説する。
科学情報システム特論 (02M0016) 柏川 正 充	I・II 後 2単位	新しい話題に応じた洋書を一冊選択してゼミ形式で輪講を行う。ユーザインタフェース、オペレーティングシステム、システム設計、デザインパターンなどの分野から本を選択する。
科学情報システム特論演習 (02M0017) 柏川 正 充	2単位	科学情報システム特論の演習
計算理論特論 (02M0019) 市川 哲 彦	I・II 前 2単位	本講義ではソフトウェアを支えている計算理論とモデルの解説を行う。まず記号計算の基本となる命題論理と述語論理について復習し、引き続き論理計算のモデルについて述べる。さらに、関数型言語の基本となる λ 計算についても概略を述べる。
確率解析特論 (02M0027) 笠原 勇 二	I・II 後 2単位	ブラウン運動の定義からはじめ、確率積分の定義と確率微分方程式の理論を解説する。
応用数学特論 (02M0031) 竹尾 富貴子	I・II 後 2単位	確率測度空間上の関数空間を考え、その上の作用素、特に Frobenius-Perron 作用素、Koopman 作用素についてその反復挙動のカオス性などを確率測度空間上の保測変換との関係などから論ずる。
応用数学特論演習 (02M0032) 竹尾 富貴子	I・II 後 2単位	応用数学特論に関する具体的な問題の演習をする。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
離散数学特論 (02M0033) 金子 晃	I・II 前 2単位	次のいずれかを扱う。場所・曜日など、HPの情報に注意。 1) 幾何学入門。代数幾何、位相幾何、微分幾何などを計算機への応用を念頭に解説（この場合は学部と共通）。 2) 楕円曲線暗号入門。数学的理論だけでなく実装法や安全性などについても扱う（この場合は院単独の講義）。
情報構造特論 (02M0037) 吉田 裕 亮	I・II 前 2単位	情報の中に潜在する有限離散的な構造を確率論的に推測する手法においては、確率論的なモデルを考えるのは重要である。本講義では抽象確率空間を函数解析的な側面から拡張した作用素のなす代数を考え、その構造解析を部分代数の構造を基に行なう手法を扱う。この場合、部分代数に関する条件付き期待値など函数解析学的な処理が重要となる。このため函数解析の理論も本講義には含まれる。
情報構造特論演習 (02M0038) 吉田 裕 亮	I・II 前 2単位	本演習では、作用素代数において、その構造解析を部分代数の構造を基に行なう手法についての演習を行なう。部分代数の増大列に関する条件付き期待値などを函数解析学の理論を用いて具体的に書き下し、これら条件付き期待値に対応する射影作用素の列を調べることにより、有限グラフによる部分代数の不変量を得ることが可能である。この演習を行なうことにより作用素代数理論への理解を深める。
数式処理特論 (02M0039) 浅本 紀 子	I・II 後 2単位	(未定)
数理情報学特論 (02M0040) 浅本 紀 子	I・II 2単位	広範囲の事象から抽出された数理情報のふるまいを記述する方程式の解を解析する基礎理論を取り上げ、これを計算機を用いた処理を中心として論ずる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
数理情報学特論演習 (02M0041) 浅本紀子	I・II 後 2単位	数理情報学特論で取り上げた具体例に対して、それを 計算機で処理する方法について、数式処理ソフトを使用 した演習を行う。
離散力学系特論 (02M0042) 浅本紀子	I・II 後 2単位	(未定)
調和解析特論 (02M0047) 渡辺ヒサ子	I・II 前 2単位	n次元ユークリッド空間上で、極大関数、超関数、ハ ウスドルフ測度、容量などについて述べ、それ等を使っ て、 α 次のリースポテンシャルの性質等を考察する。 参考書はその都度指示する。
調和解析特論演習 (02M0048) 渡辺ヒサ子	I・II 2単位	極大関数、超関数、容量等の概念の理解を深めるため に演習を行う。
解析的整数論特論 (02M0049) 藤原正彦	2単位	楕円曲線論について講述する。楕円曲線の定義、演算、 群構造などを予備知識として仮定したうえで、合同ゼー タ関数、Hasse-Weil L関数、モジュラー形式などの基 礎について解説する。Fesmat 予想解決の鍵となった谷 山・志村予想についても触れる予定。
整数論特論 (02M0050) 横川光司	I・II 前 2単位	代数的整数論の基本的な内容について講義する。
整数論特論演習 (02M0051) 藤原正彦	I・II 前 2単位	解析的整数論特論について演習を行う。
漸近解析特論 (02M0052) 真島秀行	I・II 前 2単位	ガンマ関数の近似公式として知られるスターリングの 公式や過剰虹のエアリーおよびストークスによる解析を はじめとして、多くの関数方程式の解の近似的挙動を明 らかにする手法として知られる漸近解析について、基本 的な部分からいくつかの応用までを論ずる。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
関数方程式特論 (02M0053) 武部尚志	I・II 集中 2単位	数理解物理学における可積分系の理論から適当なトピッ クを選んで解説する。現在候補として考えているのは、 可積分系の変数分離か共形場理論の基礎的な話。
関数方程式特論演習 (02M0054) 真島秀行	I・II 前 2単位	関数方程式についての基本的な例を扱ったり、基本的 な定理の応用に関わる演習を行う。
多様体構造特論 (02M0055) 中居功	I・II 前 2単位	常微分方程式の解の幾何学について様々な手法を紹介 する。
等質空間特論 (02M0056) 塚田和美	I・II 後 2単位	リーマン対称空間論の入門講義。リーマン幾何学の基 礎事項の解説から始め、リーマン多様体の著しいクラス であるリーマン対称空間の基礎理論を講義する。具体例 を多く取り上げてお話ししたい。
等質空間特論演習 (02M0057) 塚田和美	I・II 2単位	等質リーマン多様体に関わる話題での論文講読。
実解析特論 (02M0058) 前田ミチエ	I・II 前 2単位	距離空間上の測度論を講述する。Regular measure, tight measure, perfect measure、更に linear functional と measure の関係、measure の空間の弱位相等を中心に 考察する。
無限次元測度特論演習 (02M0060) 前田ミチエ	I・II 後 2単位	無限次元ベクトル空間、特に Hilbert 空間、Banach 空間上の測度論に関する演習。シリンダー測度、可測ノ ルム、抽象 Wiener 空間等について具体的な問題を考え る。
多元環構造特論 (02M0061) 榎本陽子	I・II 前 2単位	代数的閉体上の有限次元多元環、その両側イデアルお よびそれらの表現について解説する。特にベーシックな 多元環をクワイバーと関係式を使って記述し、それらの 森田同値性、導来同値性を論じる。例としては群環の両 側イデアルであるブロックを主に使う。

科目名 (科目番号) 教官名	履修年次 学期 単位数	講義内容
代数構造特論演習 (02M0063) 榎本陽子	I・II 後 2単位	多元環の表現論の研究を行うための、演習問題を解いたり、いろいろの例を作ったりする。
大域幾何学特論演習 (02M0066)	I・II 後 2単位	微分方程式の解の幾何学についての演習。
複素解析学特論演習 (02M0069)	I・II 後 2単位	複素解析学の基礎的な定理の習得とその実際の問題への応用を目的にした演習を行う。
複素多様体特論 (02M0070) 松崎克彦	I・II 後 2単位	多変数正則関数の複素解析学に関する基本的事項を講義する。擬凸性、正則領域、スタイン多様体の解説を目標にする。
代数幾何学特論演習 (02M0072) 横川光司	I・II 前 2単位	代数幾何学の基礎的な一般論についての本を元にゼミ形式で学ぶ。演習問題を課題として解かせることも多い。
特別演習 (02M0073) (数理・情報科学専攻教官)	I・II 前 4単位	各研究室で、それぞれ特定の項目について論文、単行本などを読み調べ報告し、教官と議論を行いながら理解を深めるとともに、数理・情報科学における研究の方法を修得する。
特別研究 (02M0074) (数理・情報科学専攻教官)	I・II 通年 12単位	教官の指導の下に、各人のテーマの修士論文の作成を目標とした研究を行う。

担当教官名簿

担当教官名簿

学 長 本 田 和 子
 人間文化研究科長(併)教授 平 野 由 紀 子

言語文化専攻

日本語文化学コース

教 授 鈴 木 泰
 教 授 市 古 夏 生
 教 授 平 野 由 紀 子
 教 授 萩 原 千 鶴
 教 授 大 塚 常 樹
 助 教 授 菅 聡 子
 助 教 授 古 田 啓 徹
 助 教 授 浅 田 徹

アジア言語文化学コース

教 授 相 原 茂
 教 授 宮 尾 正 樹
 助 教 授 伊 藤 美 重 子
 助 教 授 和 田 英 信

英語圏・欧州言語文化学コース

教 授 中 村 弓 子
 教 授 石 丸 昭 二
 教 授 西 尾 道 子
 教 授 中 村 俊 直
 教 授 小 池 美 佐 子
 教 授 竹 村 和 子
 助 教 授 村 田 真 弓
 助 教 授 菅 野 健
 助 教 授 牛 江 ゆ き 子
 助 教 授 松 崎 毅
 助 教 授 清 水 徹 郎
 助 教 授 ダイアン・ホーリー・ナガトモ

助 教 授 野 口 徹

日本語教育コース

教 授 長 友 和 彦
 教 授 岡 崎 眸
 教 授 村 松 賢 一
 助 教 授 佐々木 泰 子
 助 教 授 佐々貴 義 式
 助 教 授 アイリン・B.マイカス・アガ
 助 教 授 加賀美 常美代
 助 教 授 森 山 新

人文学専攻

思想文化学コース

教 授 土 屋 賢 二
 教 授 羽 入 佐 和 子
 教 授 高 島 元 洋
 助 教 授 三 浦 謙
 助 教 授 佐藤(頼住)光子

歴史文化学コース

教 授 窪 添 慶 文
 教 授 山 本 秀 行
 教 授 安 田 次 郎
 教 授 小 風 秀 雅
 教 授 秋 山 光 文
 教 授 三 浦 徹
 教 授 古 瀬 奈 津 子
 助 教 授 新 井 由 紀 夫
 助 教 授 天 野 知 香 樹
 助 教 授 安 成 英 樹

助 授 神 田 由 築
服飾文化学コース
教 授 徳 井 淑 子
助 授 吉 村 佳 子
講 師 鈴 木 禎 宏
舞踊・表現行動学コース
教 授 石 黒 節 子
教 授 片 岡 康 子
助 授 杉 山 進
助 授 水 村 真由美
助 授 新 名 謙 二
講 師 中 村 美奈子
音楽表現学コース
教 授 遠 藤 秀一郎
教 授 林 廣 子
教 授 近 藤 讓
助 授 永 原 恵 三

発達社会科学専攻

発達人間科学系

教育科学コース

教 授 鷹 野 光 行
教 授 耳 塚 寛 明
教 授 三 輪 建 二
助 授 米 田 俊 彦
助 授 小 玉 重 夫
助 授 勝 野 正 章

心理学コース

教 授 内 田 伸 子
教 授 内 藤 俊 史
教 授 石 口 彰
助 授 坂 元 章
助 授 菅 原 ますみ

発達臨床心理学コース

教 授 無 藤 隆
教 授 黒 田 淑 子

教 授 井 原 成 男
教 授 井 宮 田 敬 一
教 授 藤 田 宗 和
助 授 伊 藤 美奈子
助 授 青 木 紀久代
講 師 伊 藤 亜矢子

応用社会学コース

教 授 天 野 正 子
教 授 平 岡 公 一
助 授 坂 本 佳鶴恵

社会臨床論コース

教 授 箕 浦 康 子
助 授 酒 井 朗
助 授 田 代 和 美

生活・開発科学系

生活政策学コース

教 授 袖 井 孝 子
教 授 牧 野 カツ子
教 授 戒 能 民 江
教 授 御 船 美智子
教 授 杉 田 孝 夫
教 授 藤 崎 宏 子
助 授 小 谷 真 男
助 授 大 森 正 博

地理環境学コース

教 授 田 宮 兵 衛
教 授 内 藤 博 夫
助 授 栗 原 尚 子
助 授 杉 谷 隆 賢
助 授 内 田 忠 賢
助 授 水 野 勲

開発・ジェンダー論コース

教 授 波 平 恵美子
教 授 館 かおる
教 授 石 塚 道 子
教 授 伊 藤 る り

助 授 熊 谷 圭 知
助 授 永 瀬 伸 子

ライフサイエンス専攻

生活科学系

食品科学コース

教 授 本 間 清 一
教 授 畑 江 啓 子
教 授 久保田 紀久枝
助 授 村 田 容 常
助 授 富 永 典 子
助 授 香 西 みどり
助 授 森 光 康次郎

栄養科学コース

教 授 近 藤 和 雄
教 授 脊 山 洋 右
教 授 大 塚 讓 史
助 授 小 松 龍 子
助 授 藤 原 葉 子

人間生活工学コース

教 授 田 中 辰 明
教 授 會 川 義 寛
助 授 太 田 裕 治

環境生活工学コース

教 授 小 川 昭二郎
教 授 駒 城 素 子
助 授 仲 西 正 寛
助 授 大 瀧 雅 寛

生物人間科学コース

教 授 森 田 寛
助 授 松 浦 秀 治
助 授 鈴 木 恵美子
講 師 柴 坂 寿 子

生命科学系

分子生物科学コース

教 授 松 本 勲 武

教 授 芦 原 坦
教 授 室 伏 きみ子
教 授 松 浦 悦 子
助 授 小 川 温 子
助 授 林 正 男
助 授 小 林 哲 幸
助 授 相 川 京 子

生命体科学コース

教 授 馬 場 昭 次
教 授 山 下 貴 司
教 授 根 本 心 一
教 授 最 上 善 広
助 授 山 千 葉 直 樹
助 授 加 藤 和 義
助 授 服 田 美 砂子
講 師 作 田 昌 之
講 師 清 本 正 明 人

物質科学専攻

関連物質科学コース

教 授 富 永 靖 徳
教 授 益 田 祐 一
教 授 今 井 正 幸
助 授 古 川 はづき
助 授 奥 村 剛

分子科学コース

教 授 福 田 豊
教 授 永 野 肇
助 授 今 野 美智子
助 授 堀 佳也子
助 授 鷹 野 景 子
助 授 山 田 眞 二
助 授 森 武 次 仁 也

物理学コース

教授	柴田文	明夫
教授	菅本晶	望博
教授	浜谷川	哲生
教授	出口林	功佳
講師	小外館	良衛
講師	曹	基哲

数理・情報科学専攻

情報科学コース

教授	佐藤浩	史也
教授	河村哲	一成
教授	藤代一	良文
助教授	増永	正充
助教授	粕川	哲彦
助教授	市川	健一
助教授	浅井	健一

応用数理コース

教授	笠原勇	二貴
教授	竹尾富	貴子
教授	金子	晃亮
助教授	吉田裕	亮子
助教授	浅本紀	子

数学コース

教授	渡辺ヒサ	子彦
教授	藤原正	秀行
教授	真島和	美
教授	塚田ミチ	エ子
教授	前田陽	子功
教授	榎本居	功彦
助教授	中松	克彦
助教授	松崎	光司
助教授	武部	尚志

助教授 戸田正人

人間文化研究科 (博士後期課程)

助手	小松千	明子
助手	吉原昌	子
助手	于	紅宣
助手	李知	まみ
助手	池田朋	枝
助手	相原美	和子
助手	田村方	子
助手	鍵谷佳	知子
助手	北島明	子
助手	佐藤	アトリアナ・バウロビコヴァ
助手	丁	莉
助手	杉崎千	絵
助手	角谷詩	織
助手	竹房あ	つ子
助手	富山尚	子
助手	西川可	穂子

